

2022.6.1

号外

看護 ちば



令和4年度
定時総会開催



令和4年度 定時総会開催

期 日 令和4年6月23日(木) 9:10～13:50

会 場 東京ベイ幕張ホール

令和4年度千葉県看護協会定時総会プログラム

- 8:40 受付
- 9:00 オリエンテーション
- 9:10 開 会
会長挨拶
公益社団法人千葉県看護協会会長表彰
公益社団法人千葉県看護協会会長表彰受賞者謝辞
各受賞者紹介
叙勲、厚生労働大臣表彰、千葉県知事表彰、日本看護協会会長表彰
来賓祝辞・祝電披露
- 9:50 議長団・議事録署名人選出
- 10:00 審議事項
第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について
第2号議案 令和4年度改選役員及び推薦委員の選任について
第3号議案 2023年度日本看護協会 代議員・予備代議員の選出について
- 11:00 選 挙 令和4年度改選役員及び推薦委員の選任について
- 11:30 — 休憩(昼食) —
- 12:10 報告事項
・令和4年度千葉県看護協会重点事業・事業計画・予算等について
・令和3年度理事会、常任委員会等報告
- 13:20 令和4年度改選役員・推薦委員の選挙結果報告及び承認
- 13:35 新旧役員・委員の紹介(旧役員等挨拶)
- 13:50 総会閉会(職能集會会場へ移動)

令和4年度千葉県看護協会職能集會プログラム

- 14:00 職能集會
・令和3年度職能委員会報告
・講演等
- 16:00 職能集會終了

※職能集會終了後 理事会

CONTENTS

2	プログラム	49	第2号議案 令和4年度改選役員及び推薦委員の選任について
3	第1号議案 令和3年度事業報告及び決算報告 並びに監査報告について	51	第3号議案 2023年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出 について

令和3年度 重点事業報告

令和3年度 重点事業報告

- 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の整備

重点事業：

- 1-1 ヘルシーワークプレイスの推進
- 1-2 中小規模病院看護管理者の育成
- 1-3 ナースセンター事業の推進
- 1-4 看護政策推進・組織強化の推進
- 1-5 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保
- 1-6 医療安全対策の推進

- 2-1 生涯教育の推進
- 2-2 看護研究学会の開催
- 2-3 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発
- 2-4 特定行為研修制度の普及・活用

- 3-1 療養する高齢者のみでなく、母子、障がいのある人々などを含む
地域包括ケアシステムの構築・推進
- 3-2 地域連携強化と多職種連携会議への参画
- 3-3 地域包括ケアを実現するための人材確保

- 4-1 新興感染症等パンデミックへの対応、体制の整備
- 4-2 大規模災害発生時の対応体制の整備
- 4-3 災害支援・感染症対策を担う看護職の育成

1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

1-1 ヘルシーワークプレイスの推進（健康で安全な職場づくりの取り組み）

実施内容

1. ヘルシーワークプレイス推進事業

- 1) ヘルシーワークプレイスの普及
 - ・ヘルシーワークプレイスガイドラインの理解を目的とした講演
 - ・ヘルシーワークプレイス研修会の開催等
- 2) ヘルシーワークプレイスの啓発
 - ・県内の宣言施設の増加
 - ※看護職の業務上の危険と健康づくりの2つの視点から予防・取り組みを実践
 - ⇒組織の文化・風土、支援的な環境体制づくり
 - ・ヘルシーワークプレイス推進週間の設置
 - ・ハラスメントに関する調査

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

千葉県では慢性的な看護師不足や離職率が高い状況が続いており、看護職定着・確保推進計画の目標に「質の高い医療・看護を提供するため、看護職が働き続けられる職場づくりの推進」を掲げ、WLBの推進事業等に取り組んできた。これまでの取組から、労働条件や処遇改善、子育て支援制度の整備、多様な勤務形態の導入などの効果がみられたが、看護職の離職率はあまり改善がみられていない。

日本看護協会では、2004年策定の「看護の職場における労働安全衛生ガイドライン」を2018年に改訂し「労働安全衛生ガイドライン～ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」を公表している。当協会においてもWLBの推進からヘルシーワークプレイスの実現に向けて、ヘルシーワークプレイスガイドラインの活用を図りながら取組むこととする。推進にあたっては、ヘルシーワークプレイスの普及や啓発が課題であり、各種事業をとおして、県内施設が健康で安全な職場を目指せるよう支援する。

成果

- 1) ヘルシーワークプレイスの普及
 - (1) ヘルシーワークプレイス研修会 11/4 Web開催 参加者 67名
- 2) ヘルシーワークプレイスの啓発
 - (1) 取組宣言施設の募集（通年募集） 応募施設 3施設
 - (2) 「看護ちば」に掲載 137号、138号、139号、140号（4月、7月、10月、1月号）
 - (3) ハラスメントに関する調査
対象：千葉県看護協会会員施設病院の会員 1,000人（男女各500人）
調査方法：郵送及びWeb
調査期間：9/16～9/30
回収状況：有効回収数346(有効回収率34.6%)

1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

1-2 中小規模病院看護管理者の育成（地域内の施設間連携の推進）

実施内容

1. 中小規模病院看護管理者の育成

- 1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会（県内2地区）
- 2) 看護管理者研修（生涯教育）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年を見据え、医療は病院完結型から地域完結型へシフトチェンジし、地域連携の構築および強化が重要となっている。また、医療費抑制傾向にある診療報酬改定が続き、看護管理者の経営参画意識の向上が病院維持に不可欠になってきている。300床未満の中小規模病院が約8割を占める千葉県においては、地域医療を担う中小規模病院の看護管理者の果たす役割は大きい。しかし、中小規模病院の看護管理者は、時間や人員に余裕がなく、希望通りに看護管理者対象の研修等に参加しにくい状況であると推察される。

そこで、中小規模病院の看護管理者が、看護に関連する診療報酬の活用・看護の質向上・看護職員の定着と確保・問題解決技法等について学びやすい研修を企画し、マネジメント力の向上を図られるようにする必要がある。

平成24年から、長期間現場を離れることが難しい看護管理者が参加しやすいように、看護管理の基礎知識を系統的に学べる5日間の研修を開催している。また、平成28年からは、地域特有の課題について情報共有ができ、成長とネットワークづくりの場としても活用できる地区別研修を開催している。

成果

- 1) 中小規模病院看護管理者研修・情報交換会 2/2 Web開催 参加者 48名

1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

1-3 ナースセンター事業の推進

(安定的な定着・確保対策の実践、再就業支援等)

実施内容

1. ナースセンター事業

- 1) 看護職の定着・確保に係る実態調査
- 2) 看護職の無料職業紹介
- 3) 届出制度
- 4) 未就業看護職の就業支援
- 5) ナースセンター運営委員会
- 6) ナースセンター事業の広報
- 7) 関係機関との連携
- 8) 看護職への相談支援
- 9) 看護進路相談事業
- 10) ナースセンター維持管理

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、千葉県から看護協会が「千葉県ナースセンター」として指定を受け事業を実施している。

千葉県の就業看護職の現状は、平成30年の従事者届によると、人口10万対で全国46位と厳しい水準にあり、2025年には約8,800人の看護職が不足すると見込まれている。

ナースセンターを介した再就業者は年々増加しているものの、求人施設と求職者の登録促進とマッチングの強化が課題である。併せて、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、医療現場・保健所・療養施設・ワクチン接種等の求人が増加したことから、今後、ナースセンターの認知度を高める取組みを強化し、求人施設・求職者の活用拡大を図ることが必要である。

成果

- 1) 看護職の定着確保に係る実態調査
 - (1) 病院看護管理者
289施設に9/16～9/30の期間で実施、有効回収率57.8%
 - (2) 未就業看護職
386名に9/16～9/30の期間で実施、有効回収率34.2%
 - (3) 訪問看護ステーション管理者
452ステーションに9/27～10/12の期間で実施、有効回収率25.2%
 - (4) 新人看護職員
577会員施設及び453訪問看護ステーションの新人看護職員に10/12～10/21の期間で実施
有効回収数 663人
 - (5) 統括保健師
県1名、市町村54名に10/25～11/5の期間で実施、有効回収率76.4%

- 2) 看護職の無料職業紹介
- | | |
|--------------|------------------|
| eナースセンター利用者数 | 8,367名 |
| 新規求人数 | 2,467名 |
| 新規求職者数 | 2,533名 |
| 紹介者数 | 1,727名 (延2,140名) |
| 就職者数 | 891名 |
- 3) 届出制度
届出者数 1,176名 (代行届出数 751名 代行届出率 63.9%)
- 4) 未就業看護職の就業支援
- (1) 看護基礎技術講習会 85回実施 参加者 111名 就業者 58名
 - (2) 就業支援

面接	139名	電話	3,053名	メール等	5,148名
----	------	----	--------	------	--------
 - (3) ハローワーク出張相談会 17回 相談 25名
 - (4) 求人情報誌発行 4回 (6月、9月、12月、3月)
 - (5) 訪問看護基礎研修会 7/28、8/25、10/20、11/26、12/22 参加者 22名
 - (6) プラチナナース研修会 9/29 Web開催 参加者 28名
- 6) ナースセンター事業の広報
- (1) 「看護ちば」にナースセンターだよりを掲載
137号、138号、139号、140号 (4月、7月、10月、1月)
 - (2) ナースセンターのリーフレット配布
 - (3) 県内市町村にワクチン接種の看護職確保のためのナースセンター活用の案内
- 7) 関係機関との連携
- (1) 2021年度ナースセンター事業担当者会議 (日本看護協会主催) 5/21
 - (2) 就業準備金にかかる日本看護協会との契約に関するWeb説明会 6/30
 - (3) 労働法に関する勉強会 7/21
 - (4) 2021年度都道府県ナースセンター地区別意見交換会 9/2
 - (5) 地域に必要な看護職確保推進事業報告会 3/23
- 8) 看護職への相談支援 8,340名
- 9) 看護進路相談事業
- (1) 進路相談 37件
 - (2) 出前授業 21校 (中学校 12校 高等学校 9校) 参加者 1,592名
 - (3) ふれあい看護体験 協力施設の募集 協力施設 39施設
実施施設 28施設 参加者 418名

1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

1-4 看護政策推進・組織強化の推進（会員増の推進）

実施内容

1. 看護政策推進のための組織強化の推進

- 1) 第5次看護職定着・確保の推進
- 2) 会員増の推進
 - (1) 新規・再入会の促進
 - (2) 継続会員への勧奨
 - (3) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。実現のためには、看護政策を提案し、実行できる組織として、組織強化を図り、成長していく必要がある。組織強化には、会員数を増やし看護の機能と看護職の役割について社会的な合意を得ながら法制化や制度的環境を整えていく必要がある。本県は特に慢性的な看護師不足が続いており、離職率の高さや看護学生の県内就業状況等の課題を踏まえ、平成19年度から「看護職定着・確保推進計画」を策定し、目標を達成するための設定指標（数値目標）を設定して各事業を推進している。

成果

- 1) 第5次看護職定着・確保の推進
 - (1) 看護ちば、協会ホームページによる広報
「看護ちば」138号（4月）及び協会ホームページに掲載
 - (2) 令和3年度定時総会・施設等会員代表者会・理事会で説明
 - (3) 看護職定着・確保対策協議会 3/3 Web開催
- 2) 会員増の推進
 - (1) 新規・再入会の促進 28,794人
 - ①入会促進ツール（日本看護協会）の配付
入会促進用チラシ、新しい福利厚生サービスのチラシ、看護協会ガイドブック
〔千葉県看護協会版〕 302施設
 - ②入会案内の配布 県内訪問看護ステーション 454施設
 - (2) 継続会員への勧奨
 - ①新規入会者への案内「入会されたあなたへ～information～」等の送付 2,297名
 - ②看護ちばへの掲載 137号、139号、140号
 - (3) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内
 - ①看護学生の表彰
対象：36校、36名
 - ②千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内
対象：令和3年度卒業生42校、2,588名
 - ③協会の機能と役割に係る特別講話
対象：14校

1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

1-5 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保

実施内容

1. 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保事業

- 1) 進路相談
- 2) 出前事業
- 3) ふれあい看護体験
- 4) 進路相談教員等への情報提供

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

県内の学校に通う児童・生徒や保護者、学校の進路相談担当者を対象として、看護についての知識や理解を深めることにより、看護学生の確保を図ることを目的として実施している。（出前授業は平成17年度から、ふれあい看護体験は平成22年度から通年実施）

出前授業やふれあい看護体験の参加者は年々増加しているが、今後は18歳人口が減少し看護人材が不足することから、2030年には18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要があると試算されている。（日本看護協会）このため、若年層を対象とした看護職の魅力の発信を強化する必要がある。

成果

- 1) 進路相談（再掲） 37件
- 2) 出前事業（再掲） 21校（中学校 12校 高等学校 9校）参加者 1,592名
 - (1) 5/12 第31回県民が集う「看護の日」イベントとしてラッピングバスの運行、出前授業を実施 高等学校 1校 参加者 19名
 - (2) 上記以外の実施校 20校（中学校 12校 高等学校 8校）参加者 1,573名
- 3) ふれあい看護体験（再掲） 協力施設の募集 協力施設 39施設
実施施設 28施設 参加者 418名

1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進

1-6 医療安全対策の推進

実施内容

1. 医療安全対策の推進事業

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
 - (1) 医療事故調査に関する情報提供・支援者紹介
 - (2) 「世界患者安全の日」の啓発
- 2) 医療安全文化の醸成
 - (1) 医療安全大会の開催
 - (2) 医療安全推進の普及啓発（標語・ポスター）
- 3) 医療安全管理者の育成
 - (1) 医療安全管理者養成研修会
 - (2) 医療安全担当者中央交流会
 - (3) 医療安全担当者地区交流会
- 4) 関係機関等との連携促進
- 5) 医療安全委員会の開催

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成11年相次ぐ医療事故の報道以降、国は医療機関における医療安全管理体制の整備を進めてきた。また、日本看護協会では、職能団体として看護職の安全なケア環境をつくるため様々な取り組みを行っている。当協会においても、看護職が安全に安心して働き続けられる環境づくりを目指し、医療安全の確保推進事業を実施してきた。

平成17年より「医療安全推進週間」に合わせて、多職種参加の医療安全大会の開催や医療安全に関する標語を募集しポスターにして配布する等、県内の医療従事者の、医療安全への意識の向上と普及啓発を図ってきた。

今後は、今年度で17回目となる医療安全大会を、より有意義なものにしていくために、行政および医師会等と共同主催する等、大会の在り方を含めた見直しが必要である。

さらに、平成31年の世界保健機関の総会において、患者安全を促進することへの人々の意識・関心を高め、国際的な理解を深めるため、11月17日が世界患者安全の日と制定された。医療安全推進週間と共に、医療安全文化の醸成に向けた取り組みを継続していく。

成果

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
 - (2) ホームページにて、世界患者安全の日(WPSD)を紹介し県民へ啓発
千葉ポートタワーをシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップ
(9/17～9/23 千葉県及び千葉市、認知症の人と家族の会千葉県支部と連携)
- 2) 医療安全文化の醸成
 - (1) 医療安全大会 11/21 Web開催
テーマ：コロナ禍における多職種連携の視点で考える医療安全
参加者 216名（一般参加者数：193名 関係者数：23名）
 - (2) 標語応募数518作品
- 3) 医療安全管理者の育成
 - (2) 医療安全担当者中央交流会 7/31 Web開催
テーマ：身体抑制と医療安全 参加者 35名 参加施設 33施設
 - (3) 医療安全担当者地区交流会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
全地区中止
- 5) 医療安全委員会 7/30、8/20、9/17、10/15、2/18

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-1 生涯教育の推進

実施内容

1. 生涯教育の開催

- 1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
- 2) ラダーと連携した継続教育
- 3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
- 4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育
- 5) 資格認定教育

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護職がさまざまな場で専門職としての役割を発揮していくためには、自律性が不可欠であり、新たな医療ニーズに対応する能力を身につけ、質の高い看護を提供するための研修と人材育成およびキャリア開発を念頭においた継続教育が必要であり、千葉県看護協会でも生涯教育計画として現任教育を実施している。令和元年度から、日本看護協会の「5つの研修分類」の区分と「看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）」を各研修に表記し、受講の目安となるようにした。

個々の看護職が専門職として自己研鑽でき、さらに組織のニーズにも対応できるような魅力的な研修を検討し、実施していく必要がある。

また、令和3年度から研修システムmanaableを導入し、研修管理・運営を行っている。新型コロナウイルス感染拡大の影響から、Web配信研修を中心に実施しているが、対面研修とWeb配信研修の利点を検討したうえで、研修方法を決定していく必要がある。

成果

- 1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育
(17研修中 16研修終了・1研修中止)
- 2) JNAラダーと連携した継続教育
(87研修中 82研修終了・5研修中止)
 - (1) ニーズをとらえる力 (11研修中 11研修終了)
 - (2) ケアする力 (20研修中 20研修終了)
 - (3) 協働する力 (4研修中 3研修終了 1研修中止)
 - (4) 意思決定する力 (3研修中 3研修終了)
 - (5) 看護共通 (49研修中 45研修終了・4研修中止)
- 3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育
(8研修中 8研修終了)
- 4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実にむけた継続教育
(2研修中 2研修終了)
- 5) 資格認定教育
(6研修中 5研修終了・1研修中止)

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-2 看護研究学会の開催

実施内容

1. 看護研究学会の開催

1) 第40回千葉県看護研究学会の開催

令和3年11月4日（木） Web開催

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護研究を行うことは、科学的根拠に基づく看護（EBN）を実践することにつながり、看護の質の向上を目指した活動であり、専門職としての責務でもある。千葉県看護協会では昭和57年度から研究発表を行う場として学会を毎年1回開催してきた。しかし、令和元年度以降新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、開催方法の変更や中止を余儀なくされ、演題応募数の減少が顕著になっている。

臨床現場において質の高い看護を提供するために、看護研究に取り組み、研究結果として得られた新知見を発表し共有できる看護研究学会の開催の意義は大きい。そのため、演題応募数および参加者数の増加を念頭においた実践報告発表の検討や倫理審査の実施を含めた研究活動の支援の在り方を、引き続き検討していく。

成果

- 1) 第40回千葉県看護研究学会の開催
11/4 中止

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-3 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

実施内容

1. 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

- 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用
専門・認定看護師等の理解と資格取得・就業の推進
⇒新型コロナウイルス感染症対策に従事した看護職の対応等

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成6年に資格認定制度が発足し、診療報酬加算の要件に専門看護師・認定看護師の配置が規定されていることもあり、専門・認定看護師制度の普及は進んでいる。令和2年12月現在の千葉県に登録者数は、専門看護師101名、認定看護師845名となった。令和2年以降の新型コロナウイルス感染症対策においては、感染の分野の専門看護師・認定看護師が専門性を発揮して活動した。専門性の高い看護職の役割の重要性が認知された。

しかし、令和元年10月の調査によると、認定看護師が所属している病院の割合は、200～299床で48.9%、150～199床で38.3%となっており、中小規模病院における認定看護師の資格取得・就業に課題がある。

今後もチーム医療を推進していく中で看護の専門性を発揮するためには、より専門的で質の高い知識や技術を持ったスペシャリストの育成は不可欠であり、組織として資格取得と活動を支援できるよう、活用可能な情報を適宜発信していく必要がある。

また、研修等で指導・支援可能な県内の専門看護師・認定看護師の状況を把握し、エントリー制にする等の取組みについても検討していく。

成果

- 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用
 - ・生涯教育研修の担当講師
 - 専門・認定看護師の講師 37研修 62名

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

2-4 特定行為研修制度の普及・活用

実施内容

1. 看護職の専門性の理解と活動推進に向けた啓発

- 1) 特定行為研修制度の普及・活用
特定行為研修制度の理解と資格取得・就業の推進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

チーム医療を推進し、看護師がさらに役割を発揮するために、平成27年10月に「特定行為に係る研修制度」が施行され、令和元年度の認定看護師制度改正により、認定看護師教育課程に特定行為研修が組み込まれ、令和3年度から活動することとなった。

日本看護協会の「看護の将来ビジョン」（平成27年）において、特定行為研修制度を通して、高度な看護を実践する能力を持つ看護職の育成を推進するとしており、少子超高齢社会における地域・国民のニーズに積極的に応えるため、制度の活用の推進が求められている。また、チーム医療および医師の働き方改革を推進する観点からタスク・シフティングを進めるためにも、この制度の普及と活用が重要である。

全国の特定行為研修修了者は2,887名（令和2年10月時点）、研修機関は46都道府県で272機関（令和3年3月時点）であるが、千葉県の登録者は111名、研修機関は4施設となっている。質の高い看護の提供体制の構築を目指し、千葉県看護協会の会員施設および会員に対して特定行為研修制度の理解促進のために、特定行為研修修了者の活動や指定研修機関の研修生受け入れに関する情報提供等を行う研修の実施を検討する必要がある。

成果

- 1) 特定行為研修制度の普及・活用
 - ・第52回（2021年度）日本看護学会学術集会 9/28 シンポジウム
テーマ「地域において看護の力を発揮する特定行為研修修了者の育成」ライブ配信
オンデマンド配信（11/26～12/26）
 - ・新規特定行為研修機関のHP掲載（9月）

3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

3-1 療養する高齢者のみでなく、母子、障がいのある人々などを含む地域包括ケアシステムの構築・推進

実施内容

1. 療養する高齢者のみでなく、母子、障がいのある人々などを含む地域包括ケアシステムの構築・推進

- 1) 地域包括ケア推進における看護活動の研修の開催
- 2) 医療的ケア児を支援する地域包括ケア研修の開催

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

少子超高齢多死社会においては、医療は病院完結型から地域完結型へと移行し、住み慣れた地域社会で暮らす医療依存度の高い在宅療養者（児）や障がい者（児）が増加し、全世代を対象とした地域包括ケアシステムの構築が求められている。地域において疾病・障害・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援をする看護職がその機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。

- 1) 地域包括ケアシステムの構築・推進に係る看護活動の対象を高齢者、母子に広げて年間計画に入れ研修を実施してきた。今後は、従来の研修に加え、障がいのある人への看護活動について、研修の検討をする必要がある。
- 2) 平成29年度より千葉県委託事業として、NICU看護師養成研修（生活モデルを基盤とした在宅移行支援）を開始した。令和元年度には「新生児等からの在宅移行支援研修」と名称を変更した。今後も継続して実施していく必要がある。

成果

- ・生涯教育（再掲・詳細）：「医療から在宅へのバトンタッチ」研修実施

3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

3-2 地域連携強化と多職種連携会議への参画

実施内容

1. 訪問看護提供体制の推進

- 1) 地域連携フォーラムの開催
- 2) 地域包括関連会議への参画・意見具申化

2. 訪問看護師確保・育成

- 1) 訪問看護推進協議会の開催
- 2) 訪問看護基礎研修会
- 3) 訪問看護ステーション見学会
- 4) 訪問看護就職フェアの開催
- 5) 訪問看護師育成のための人材派遣、研修等

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

訪問看護提供体制の推進には、多職種・多機関の連携が重要であり、当協会では平成25年度から令和2年度まで、協会12地区の中から、2年サイクルで看看連携・看看ケアマネ連携フォーラムを開催しており、開催地区（7地区）においてはこれを契機に、関係機関との連携会議等の取組みが行われ、訪問看護提供体制の推進につながっている。今後は、全県へ拡大していくことが課題であり、県内全体のさらなる推進を図ることが必要である。

また、地域包括ケアの担い手となる訪問看護師数について、本県は全国において下位であることや小規模訪問看護ステーションが県内7割を占めていることから、訪問看護師の確保・育成を図る必要がある。

成果

1. 訪問看護提供体制の推進

- 1) 地域連携フォーラムの開催 12/4 Web開催 参加者 49名

2. 訪問看護師確保・育成

1) 訪問看護推進協議会の開催

- ・第1回訪問看護推進協議会 7/20 Web開催

議題：令和2年度事業実施状況及び令和3年度事業計画について、今後の訪問看護推進の方向性について、訪問看護総合支援センター（仮称）について

- ・第2回訪問看護推進協議会 12/23

議題：令和3年度事業実施状況について、今後の訪問看護推進の方向性について
訪問看護総合支援センター（仮称）について

- 2) 訪問看護基礎研修会（再掲） 7/28、8/25、10/20、11/26、12/22

参加者 22名

- 3) 訪問看護ステーション見学体験（8月～2月） 参加者 8名

- 4) 訪問看護就職フェアの開催 1/15開催 参加者 19名 求人施設 14施設

- 5) 訪問看護師育成のための人材派遣、研修等

訪問看護指導者育成研修会 9/25、10/9 Web開催 参加者 37名

3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

3-3 地域包括ケアを実現するための人材確保（訪問看護師、保健師等）

実施内容

1. 訪問看護総合支援センター設置に向けた検討

2. 地方自治体への要望

- 1) 保健師増員
- 2) 産後ケアの体制整備

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

本県においては小規模訪問看護ステーションが7割を占める現状から、人材確保、経営支援、訪問看護の質向上が課題となっている。日本看護協会が提案している訪問看護総合支援センターは、訪問看護に関するさまざまな課題を一体的・一元的に解決し、地域における訪問看護提供体制の安定化・推進支援を図る拠点であり、本県においても訪問看護総合支援センター設置に向けた検討を開始する。

また、令和3年の県内保健師数は1,500人、人口10万対33.3（平成30年）で全国平均よりも低い現状にある。地域包括ケアシステムを推進するためには、地域包括の中心的役割を担う統括保健師の増員が求められる。さらに、産後ケアの体制整備として、子育て世代包括支援センターにおける医療機関・地域等の助産師と市町村の連携強化を図る必要があり、自治体へ要望を継続していく。

成果

1. 千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議 7/10、2/5
また、第1回訪問看護推進協議会 7/20にて、設置に向けての情報共有および意見交換実施
2. 千葉県へ要望書提出 9/9

4 地域における健康危機管理体制の整備

4-1 新興感染症等パンデミックへの対応、体制の整備

実施内容

1. 協定締結等による役割の明確化と連携強化

2. 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有

3. 会員施設・会員のニーズ把握

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

この度の新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症による感染拡大は、世界的な問題であり、医療・看護の現場においては患者の受け入れや自施設での感染者の発生など、収束の予測がつかない中で長期的に広範囲に及ぶ対策に看護職の専門性を発揮し続けなければならない。感染症対策を安全・安心に継続するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、協定締結と県対策本部への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である会員施設・会員からの情報・ニーズの把握により県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

成果

2 県対策本部等への参加

- ・千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会 計15回
- ・千葉県新型コロナウイルス感染症対策連絡会議専門部会周産期対応に係るワーキング等 計2回
- ・重点医療機関等によるウェブ会議 計17回

3 会員施設への物品配布

延べ498施設

- ・クールベスト1,960着 (400着)
- ・防護服2,750枚 (250枚)
- ・サージカルマスク18,750枚 (750枚)
- ・N95マスク8,400枚 (400枚)
- ・パルスオキシメーター150個 (50個)
- ・非接触体温計155個 (40個)
- ・消毒用アルコール400個 (300個)
- ・ニトリルグローブS・M52,000枚 (12,000枚)

※ () は日本看護協会からの支援

- ・経口補水液 1,929本 (業者直送)
- ・防護具等・パルスオキシメーター・タブレット端末他 (抽選)

4 地域における健康危機管理体制の整備

4-2 大規模災害発生時の対応体制の整備

実施内容

1. 協定締結等による役割の明確化と連携強化
2. 県対策本部への参加による関係機関との連携・情報共有
3. 会員施設・会員のニーズ把握

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年の災害は広範囲に甚大な被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。現在、災害発生時の対応は県との間で平成13年8月に締結された「災害時の医療救護活動に関する協定書」により実施しているが、その活動は医療救護活動に協力するとされており、看護職が広範囲に活躍している実情にそぐわない現状がある。求められる支援に迅速に対応するためには、情報の共有と関係機関の連携、看護職の役割の明確化が重要であり、現行の協定の見直しと県対策本部への看護職の参加が必須となる。

また、必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である地区部会や会員施設・会員からの情報・ニーズの把握など、県内の情報収集をいち早く行うことが必要である。

成果

- 2 県対策本部への参加
 - ・千葉県防災会議 計1回（書面）

4 地域における健康危機管理体制の整備

4-3 災害支援・感染症対策を担う看護職の育成

実施内容

1. 専門・認定看護師育成の推進

2. 看護管理者対象の人材育成・活用のための研修の開催

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

地域における災害・感染症に対応するためには、高度で専門的な知識・技術を必要とされる場で活用し看護の役割を発揮することが重要である。そのためには、専門分野に特化した専門・認定看護師や特定行為研修修了者等の人材育成と活用を推進する所属の理解と職場環境の整備が必要となる。県内の感染症看護専門看護師は3名、感染管理認定看護師は111名(令和2年12月現在)である。

一方、災害への対応は、災害支援ナース登録者246名(令和3年3月現在)に対して基本的な知識・技術や最新の情報など基礎編・実践編の研修、災害支援ナース更新・再登録要件講習会などの開催、感染症では医療安全や感染症の基礎知識とPPEなど演習等感染症に特化した研修を実施し、より安全で安心な看護を提供できるようにしている。

また、人材育成・活用に対する理解と体制づくりを推進するためには、看護管理者の理解が重要であり、研修等による推進が必要である。

成果

2.人材育成(看護管理者含)・活用のための研修の開催

- ・新型コロナワクチン接種技術研修の実施 計24回
(千葉県警出張研修1回・臨床検査技師への出張研修1回を含む)
受講者総数 看護職315名+薬剤師5名+臨床検査技師40名
- ・感染症対策強化研修の実施 計10回 受講者総数127名
- ・訪問看護師対象感染症対策強化研修の実施 計3回 受講者総数35名
- ・コロナ禍における「周産期にかかわる看護職の情報交換会」
～母子の命を救うために～ 12/11 Web開催 参加者 29名
- ・新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保事業
派遣先：沖縄県那覇市内宿泊療養施設 看護師2名(各14日間)

令和3年度 事業報告

【重点事業】

- 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の整備

●事業計画は、定款第4条の7つの事業に沿って掲載

1. 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業
2. 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業
3. 訪問看護の推進に関する事業
4. 県民の健康・福祉の増進に関する事業
5. 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業
6. 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業
7. その他この法人が目的を達成するために必要な事業

重点事業：強調、新規事業：太ゴシック

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

【目的】
県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。

事業計画	実 績																												
1.生涯教育 重点事業2-1 120研修 【目標】 看護専門職として社会のニーズや医療の進歩に対応できる知識・技術を高め、より質の高い看護実践能力を修得できるように支援する。	1.生涯教育（120研修中113研修終了・7研修中止） 令和3年度生涯教育研修 実施状況（4～3月） 別表参照 研修実施状況（平成30年度～令和3年度） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>定員(名)</th> <th>受講者数(名)</th> <th>受講率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>7,994</td> <td>7,321</td> <td>91.6</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>8,016</td> <td>6,600</td> <td>82.3</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2,526</td> <td>1,204</td> <td>47.7</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10,625</td> <td>3,633</td> <td>34.2</td> </tr> </tbody> </table> オンデマンド研修実施状況 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>実施研修数</th> <th>定員(名)</th> <th>受講者数(名)</th> <th>受講率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>1,320</td> <td>74</td> <td>5.6</td> </tr> </tbody> </table>		定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)	平成30年度	7,994	7,321	91.6	令和元年度	8,016	6,600	82.3	令和2年度	2,526	1,204	47.7	令和3年度	10,625	3,633	34.2	実施研修数	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)	14	1,320	74	5.6
	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)																										
平成30年度	7,994	7,321	91.6																										
令和元年度	8,016	6,600	82.3																										
令和2年度	2,526	1,204	47.7																										
令和3年度	10,625	3,633	34.2																										
実施研修数	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)																										
14	1,320	74	5.6																										
分類1：「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 17研修 ・臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識 ・医療安全管理者養成研修【診療報酬加算対応】 【JNAインターネット配信研修（オンデマンド）】 ・准看護師のためのスキルアップ研修 認知症と医療安全 ～転倒転落を防ぐケア～ 他	分類1「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 （17研修中16研修終了・1研修中止） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>定員(名)</th> <th>受講数(名)</th> <th>受講率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識</td> <td>100</td> <td>33</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td>准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全～転倒転落を防ぐケア～</td> <td>20</td> <td>9</td> <td>45.0</td> </tr> <tr> <td>【JNAオンデマンド活用研修】 准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥性肺炎を予防する食事介助～</td> <td>20</td> <td>5</td> <td>25.0</td> </tr> </tbody> </table>	研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)	臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識	100	33	33.0	准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全～転倒転落を防ぐケア～	20	9	45.0	【JNAオンデマンド活用研修】 准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥性肺炎を予防する食事介助～	20	5	25.0												
研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)																										
臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識	100	33	33.0																										
准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全～転倒転落を防ぐケア～	20	9	45.0																										
【JNAオンデマンド活用研修】 准看護師のためのスキルアップ研修 ～誤嚥性肺炎を予防する食事介助～	20	5	25.0																										

研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【診療報酬加算対応】	50	40	80.0
【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【診療報酬加算対応】	50	43	86.0
【JNA収録DVD研修】 認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【診療報酬加算対応】	50	68	136.0
看護職員認知症対応力向上研修(千葉県委託)	50	35	70.0
認知症対応力向上研修(千葉市委託) 【診療報酬加算対応】	50	59	118.0

分類2：JNAラダーと連動した継続教育 87研修
(1)ニーズをとらえる力 (11研修)

- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう①
検査データの読み方・活かし方
- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう②
意識障害のアセスメント
- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう③
呼吸のアセスメント
- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう④
循環のアセスメント
- ・フィジカルアセスメントの基本を学ぼう⑤
腹部症状のアセスメント 他

(2)ケアする力 (20研修)

- ・急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの
基本
～スキンケアの基礎知識と褥瘡予防ケア～
- ・地域における看取りを考える
～在宅・介護施設における看取り～他

(3)協働する力 (4研修)

- ・リーダーを始める人のためのコーチング 他

(4)意思決定する力 (3研修)

- ・患者を守り・自分を守る看護倫理の基礎 他

(5)看護共通 (49研修)

- ・共に考えよう! 2年目として「やりがいのある働き方」
- ・周手術期の看護 ～麻酔の機序と術後ケア～
- ・基礎から学ぶ臨床推論～看護の臨床判断を高めるスキル～
- ・地域保健を効果的に進めるための保健師研修(仮) 他

分類2 JNAラダーと連動した継続教育 (82研修終了・5研修中止)
(1)ニーズをとらえる力 (11研修終了)

研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ①検査データの読み方・活かし方	100	45	45.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ②意識障害のアセスメント	100	25	25.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ③呼吸のアセスメント	100	37	37.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ④循環のアセスメント	100	43	43.0
フィジカルアセスメントの基本を学ぼう ⑤腹部症状のアセスメント	100	11	11.0
合計	500	161	32.2

(2)ケアする力 (20研修終了)

研修名	定員(名)	受講数(名)	受講率(%)
急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケア の基本 ～スキンケアの基礎知識と褥瘡予防ケア～	100	85	85.0
地域における看取りを考える ～在宅・介護施設における看取り～	60	42	70.0

(3)協働する力 (3研修終了・1研修中止)

研修名	定員(名)	応募数(名)	
新生児科等からの在宅移行支援研修 (千葉県委託)	20	5	中止

小児在宅移行支援アンケート

対象：NICUのある病院12施設

目的：小児に対する在宅移行支援研修の受講意向を確認する

回答項目	回答数
加算算定のために、複数年継続して受講させたい	5
加算に関係なく、職員の自己研鑽のために受講させたい	4
今後必要性を判断し検討する	2
受講させる予定はない	1

(4)意思決定する力 (3研修終了)

(5)看護共通 (45研修終了・4研修中止)

研修名	定員(名)	応募数(名)	受講率(%)
周手術期の看護 ～麻酔の機序と術後ケア～(隔年開催)	100	39	39.0
基礎から学ぶ臨床推論 ～看護の臨床判断能力を高めるスキル～	100	65	65.0

研修名	定員(名)	応募数(名)	
地域保健を効果的に進めるための保健師研修 ～個々の事例への支援技術の向上を目指して～	20	2	中止

分類3：看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 8研修

- ・看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)の理解と施設内教育への活用【JNAオンデマンド活用研修】
- ・看護補助者の活用促進のための看護管理者研修
- ・職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～
- ・ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう! 他

分類4：専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 2研修

- ・人を育てる臨地実習
- ・教育担当者研修

分類5：資格認定教育 6研修

- ・訪問看護師養成講習会
- ・喀痰吸引指導者養成講習会
- ・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル教育課程 -第39回-
- ・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル教育課程 -第40回-
- ・認定看護管理者教育課程 セカンドレベル教育課程 -第20回-
- ・千葉県看護教員養成講習会

トピックス

2.千葉県看護研究学会 **重点事業2-2**

- 1)第40回千葉県看護研究学会
 - ・開催日 未定
 - ・場所 東京ベイ幕張ホール

3.図書室の運営管理

- 1)図書室の管理運営
- 2)資料・文献検索・レファレンス・メールによる文献複写等の相談 等

分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育(8研修終了)

研修名	定員(名)	応募数(名)	受講率(%)
【JNAオンデマンド活用研修】 看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)の理解と施設内教育への活用	40	40	100.0

分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育(2研修終了)

別表参照

分類5：資格認定教育

(5研修終了・1研修中止)

別表参照

トピックス

- 保健師研修
「新型コロナウイルス感染症第6波に備える」
参加者 14名
- 看護師基礎教育を考える会
参加者 157名

2.千葉県看護研究学会

- 1)第40回千葉県看護研究学会
11/4 中止(申込演題数3)

3.図書室の運営管理 閉館

- 1)図書室の管理運営
購入図書 33冊、寄贈図書 245冊、購入雑誌 31誌、寄贈雑誌 12誌
図書室専用ホームページアクセス件数
書籍所蔵検索 717件 雑誌所蔵検索 336件
- 2)資料・文献検索・レファレンス
文献検索等相談件数 19件 郵送文献複写申込件数 2件

<p>4.委員会の開催</p> <p>1)事業運営のための委員会の開催</p> <p>(1)教育委員会 年6回</p> <p>(2)看護研究委員会 年6回</p> <p>(3)認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回程度</p> <p>(4)千葉県看護教員養成講習会運営委員会 年2回程度</p>	<p>4.委員会の開催</p> <p>1)事業運営のための委員会の開催</p> <p>(1)教育委員会 Web開催 8/24 10/8 11/16 対面開催 12/21 1/11</p> <p>(2)看護研究委員会 Web開催 9/3 10/7 11/12 1/21</p> <p>(3)認定看護管理者教育課程運営委員会 Web開催 4/26 8/23 1/14 3/9</p> <p>(4)千葉県看護教員養成講習会運営委員会 Web開催 1/13</p>
--	--

II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

【目的】
ヘルシーワークプレイスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。

事業計画	実績
<p>1.第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>【目的】 看護職が働き続けられる職場づくりを目指して、看護職の定着・確保を図る</p> <p>1)第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>2)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回</p> <p>3)看護職定着・確保対策事業の普及啓発</p> <p>(1)「看護ちば」、ホームページ等による広報</p> <p>(2)各種協会事業を通じた普及</p> <p>4)労働環境改善委員会の開催 年6回</p> <p>5)看護政策推進のための組織強化の推進</p> <p style="text-align: right;">重点事業1-4</p> <p>2.看護職の労働環境の向上</p> <p>【目的】 県内に働く看護職の確保を図るとともに、専門性を発揮しヘルシーワークプレイスを踏まえ働き続けられるための環境づくりを推進する。</p> <p>1)ヘルシーワークプレイス推進事業 重点事業1-1</p> <p>(1)ヘルシーワークプレイスの広報</p> <p>(2)ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集</p> <p>(3)ヘルシーワークプレイス推進週間の設置</p> <p>(4)ヘルシーワークプレイスガイドライン周知のための研修</p>	<p>1.第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>1)第5次看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>2)看護職定着確保対策協議会 3/3</p> <p>3)看護職定着・確保対策事業の普及啓発</p> <p>(1)「看護ちば」、ホームページ等による広報 「看護ちば」138号（4月）及び協会ホームページに掲載</p> <p>(2)各種協会事業を通じた普及 定時総会・施設等会員代表者会・理事会で説明</p> <p>4)労働環境改善委員会 7/9 9/10 10/8 11/12 12/10 2/18</p> <p>2.看護職の労働環境の向上</p> <p>1)ヘルシーワークプレイス推進事業</p> <p>(1)ヘルシーワークプレイスの広報 「看護ちば」137号、138号、139号、140号（4月、7月、10月、1月）に掲載</p> <p>(2)ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の募集（通年） 応募施設 3施設</p> <p>(3)ヘルシーワークプレイス推進週間の設置 10/1～10/7</p> <p>(4)ヘルシーワークプレイスガイドライン周知のための研修 開催日：11/4 Web開催 参加者：67名 テーマ：「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場の実現に向けて)」</p>

(5)ハラスメントに関する調査

(5)ハラスメントに関する調査

対 象：千葉県看護協会会員施設病院の会員 1,000人 (男女各500人)

調査方法：郵送及びWeb

調査期間：9/16～9/30

回収状況：有効回収数346(有効回収率34.6%)

結果の概要：

- ①回答者の69.9%が何らかのハラスメントを受けた経験があり、最も多いのは精神的暴力だった。
- ②職場のハラスメントに関する取組みについて76.3%が具体的に知らない、何もしていないと思っており理解がされていない。

2)ヘルシーワークプレイス相談窓口設置

電話相談日：毎週火・木曜日 10時～15時

件数：35件

【内容】

個人からの相談に関すること (延べ件数)

①教育体制	②パワハラ	③健康問題	④職場復帰の不安	⑤人間関係	⑥待遇の不满	⑦過重労働等	⑧新型コロナ関係	⑨契約等に関する事	⑩その他	計
8	7	9	0	0	11	9	6	9	3	62

看護管理者からの相談に関すること

(延べ件数)

①離職・定着確保	②パワハラ	③管理体制づくり	④労働安全・メンタルヘルス対策	⑤就業規則	⑥健康管理	⑦教育体制	⑧新型コロナ関係	⑨その他	計
0	3	3	0	0	0	0	0	1	7

3)ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる施設訪問 9件

2)ワーク・ライフ・バランス相談窓口

(1)電話相談 (週2日)

3.看護進路相談事業

重点事業1-5

【目的】

県内の学校に通う児童・生徒並びにその保護者及び学校の進路相談担当者を対象として、看護についての知識や理解を深めることにより、看護学生の確保を図る。

- 1)出前授業(いのちの大切さ教育等)
- 2)ふれあい看護体験事業
- 3)進路相談事業
- 4)進路担当教員等への情報提供

3.看護進路相談事業

- 1)出前授業(いのちの大切さ教育等)
21校 (中学校 12校 高等学校 9校) 参加者 1,592名
- 2)ふれあい看護体験事業
協力施設 39施設 実施施設 28施設 参加者 418名
オンライン開催、看護の仕事の見学、DVD視聴等
- 3)進路相談事業 相談件数 37件
- 4)進路担当教員等への情報提供

4.中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会

重点事業1-2

【目的】

臨床現場を離れて研修をうけにくい状況にある中小規模病院の看護管理者が、院内で期待される本来の役割を果たすため、看護管理能力の向上を目指し、知識等を習得し、地域に共通する課題の解決に向けた方向性を見出す。

- 1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会 (県内2地区)

4.中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会

- 1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会
2/2 Web開催 参加者 講義48名 グループワーク35名
内容：①講義「組織の中で看護職が果たす役割
-適時調査対策-看護に関する診療報酬を正しく理解して経営に参画する
②グループワーク「看護部ができる経営参画」

5.ナースセンター事業(千葉県委託)

重点事業1-3

【目的】

ナースセンターに登録している未就業看護職等に対する復職支援及び職業紹介を行うとともに、看護職の定着・確保に寄与する。

1)看護職の定着確保に係る実態調査

5.ナースセンター事業(千葉県委託)

1)看護職の定着確保に係る実態調査

(1)看護職の定着確保動向調査

(%)

対 象	回収率
病院看護管理者	57.8
新人看護職員	
未就業看護職	34.2
訪問看護ステーション管理者	25.2
県・市町村の統括的役割を果たす保健師	76.4

主たる調査結果から

(病院看護管理者)

○離職率

(%)

	令和3年度	令和2年度	JNA 令和3年度
常勤看護職員	11.1	12.4	10.6
新卒看護職員	8.2	8.2	8.2
既卒看護職員	22.1	28.1	14.9

○離職理由

	1位	2位	3位
常勤看護職員	転職・進学等	健康上の理由	結婚・妊娠・出産・育児
新卒看護職員	メンタルヘルス不調	転職・進学等	健康上の理由
既卒看護職員	健康上の理由	結婚・妊娠・出産・育児	老親の世話・家族の介護

(新人看護職)

- やめたいと思ったこと：ある464名(70.0%、前年度71.4%)
- やめたいと思った理由：勤務時間内の仕事が終わらない 37.4%
看護職に向いていない 36.2%
医療事故を起こさないか心配 34.8%
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い困ったこと：
ある409名(61.7%)
困った理由：ストレス発散ができない 55.7%
同僚との交流がない 41.0%
感染がこわい 31.8%

(訪問看護ステーション管理者)

- 離職率 常勤：14.6% 非常勤：15.0% 既卒：68.3%
- 離職理由 1位：健康上の理由
2位：介護などの家庭の事情
3位：訪問看護以外への転職・進学

(県・市町村の統括的役割を果たす保健師)

- 離職率 県：5.8% 市町村：4.8%
- 離職理由 1位：転職・進学等
2位：メンタルヘルス不調
3位：結婚・妊娠・出産・育児
健康上の理由
職場の労働条件・環境への変化

2)看護職の無料職業紹介

3)届出制度

- (1)ナースセンターコンピュータシステム（とどけるん）を利用し離職届の受理
- (2)とどけるん登録者へ就業の意思確認とeナースセンターへの登録の働きかけ（一斉メール等）
- (3)合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供
- (4)届出者に対する就業支援
- (5)就業確認 郵送による就業調査

4)未就業看護職の就業支援

- (1)看護基礎技術講習会（4回/月程度開催）

(2)合同就職説明会の開催

(3)訪問看護基礎研修会（年5回）

- ・半日コース 年3回（地区1回、ナースセンター1回、Web研修1回）
- ・1日コース 年2回（ナースセンター）
- ・研修会受講後の再就業支援（再掲）

(4)看護職への求人情報の提供

(5)公共職業安定所と連携した相談ブースの設置

（千葉2回/月、松戸2回/月、木更津1回/月、成田1回/月、船橋1回/月）

(6)未就業看護師等再就業支援セミナーの開催 10回/年程度

(7)サテライト事業の推進

- ・公共職業安定所と連携した相談ブースの設置（再掲）
- ・合同就職説明会の開催（再掲）
- ・再就業支援セミナーの開催（再掲）

(8)就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集

(9)プラチナナース研修会

対象：55才以上で定年退職を迎える看護職、定年した未就業看護職

(10)ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認

- ・郵送による調査

2)看護職の無料職業紹介 ※（ ）内は前年の実績

eナースセンター利用者数 8,367名（5,090名）
 新規求人数 2,467名（1,949名）
 新規求職者数 2,533名（876名）
 紹介者数（応募者数） 1,727名 延2,140名（592名 延684名）
 就業者数 891名（351名）

3)届出制度

(1)届出者数 1,176名 代行届出数 751名 代行届出率 63.9%
 （前年 1,097名 代行届出数 689名 代行届出率 62.8%）

(2)一斉メール等によるeナースセンターへの登録の推進

(3)合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供

(4)届出者に対する就業支援（電話・メール等）

(5)郵送による就業調査（届出の3ヶ月後）

発送数 383名
 回収数 201名
 就業者数 96名

4)未就業看護職の就業支援

(1)看護基礎技術講習会

実施状況	年度	令和3年度	令和2年度
回数(回)		85	14
参加者数/延人員(名)		111 / 140	63 / 63
内容		採血・注射法・吸引・ 経管栄養・皮下注射・ 筋肉注射	採血・注射法・吸引
就業者数(名)		58	26
就業率(%)		52.3	41.3

(2)合同就職説明会

- ・2/25 Web開催
 求人施設 23施設、求職者 10名参加

(3)訪問看護基礎研修会

- ・半日コース
 7/28 8/25⇒1日コースからWebへ変更 11/26 12/22
- ・1日コース 10/20
- ・参加者数 22名 就業者数 15名

(4)看護職への求人情報の提供 6月 9月 12月 3月

(5)公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 17回
 相談者 25名

(6)未就業看護師等再就業支援セミナー
 中止

(7)サテライト事業の推進

- ・公共職業安定所と連携した相談ブースの設置（再掲）
- ・合同就職説明会（再掲）
- ・再就業支援セミナー（再掲）

(8)就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集

(9)プラチナナース研修会 9/29 Web開催

参加者：28名（全員就業中）
 （2年度 参加者30名 うち就業中29名、未就業者1名）
 参加者のアンケート結果：参加者の83.3%（2年度 68.0%）
 が定年退職後も就業を考えている

(10)ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認

- ・郵送による調査 対象者 521名 就業者 94名

- 5) ナースセンター運営委員会の開催 年1回
- 6) ナースセンター事業の広報
- 7) 関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等）
- 8) 看護職への相談支援
- 9) 看護進路相談事業(再掲)
- 10) ナースセンターの維持管理

- 5) ナースセンター運営委員会 2/10 Web開催
- 6) ナースセンター事業の広報 リーフレットの配布
- 7) 関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等）
 - (1) 2021年度ナースセンター事業担当者会議（日本看護協会主催） 5/21
 - (2) 就業準備金にかかる日本看護協会との契約に関するWeb説明会 6/30
 - (3) 労働法に関する勉強会 7/21
 - (4) 2021年度都道府県ナースセンター地区別意見交換会 9/2
 - (5) 地域に必要な看護職確保推進事業報告会 3/23
- 8) 看護職への相談支援
- 9) 看護進路相談事業(再掲)
- 10) ナースセンターの維持管理

6. 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務（日本看護協会委託事業）

事業実施期間：4/1～4/15

1) 潜在看護職等のワクチン接種業務への就業支援

ワクチン接種求人受付人数 373名

ワクチン接種就業者数 243名

2) 就業準備金支給申請に関する支給対象者への必要な支援
申請書交付数 1,582件

7. 医療・看護における安全対策 重点事業1-6

【目的】

医療関係者の医療安全対策に関する意識の向上と普及啓発を図り、医療安全管理者の育成とスキルアップの支援、関係機関との連携による医療安全対策ネットワークを構築する。また、県内の医療機関へ医療安全の周知を行うと共に医療事故調査制度の開始に伴った情報を提供していくことで、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。

- 1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供
 - ・ 医療事故調査に関する情報提供、支援者紹介
 - ・ 「世界患者安全の日」の啓発

2) 医療安全推進週間の推進

- (1) 医療安全大会の開催
 - ・ 開催日 令和3年11月21日（日）
 - ・ 場所 幕張メッセ国際会議場

(2) 医療安全推進の普及啓発

- ・ 医療安全に関する標語の募集
- ・ ポスター等による普及啓発

7. 医療・看護における安全対策

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
 - ・ 「世界患者安全の日」(WPSD) 9/17
 - 千葉ポートタワーオレンジ色のライトアップ9/17～9/23
 - ホームページ等の啓発活動
- 2) 医療安全推進週間の推進
 - (1) 医療安全大会
 - 開催日：11/21
 - 場所：Web開催
 - 参加者：193名(看護職161名 83.4%、他職種32名 16.6%)
(前年度151名)
 - テーマ：コロナ禍における多職種連携の視点で考える医療安全
 - 内容：特別講演
「患者安全の全体像と展望」
講師：名古屋大学医学部附属病院
患者安全推進部教授 長尾 能雅 氏
 - ・ シンポジウム
「コロナ禍での医療安全の取組と連携の重要性」
 - (2) 医療安全推進の普及啓発
 - ・ 医療安全に関する標語の募集

		令和3年度	令和2年度
応募者数(名)		518	1,327
内訳	看護職(名)	385	882
	他職種(名)	133	445
応募施設数(施設)		35	84

- 3)医療安全管理者の育成
 (1)医療安全管理者養成研修会(再掲)
 (2)医療安全担当者中央交流会 (年1回)
- (3)医療安全担当者地区交流会
 (2年目：市川・千葉・船橋地区 1年目：印
 旛・山武地区)
- 4)関係機関等との連携促進
 5)医療安全委員会の開催 年6回

- 最優秀賞 「後でやる 忘れる前に 今やろう」
 優秀賞 「手を止めて あせる気持ちに 一呼吸」
 ・ポスター等による普及啓発
 発送 県内250病院、保健センター等141公的機関
 その他会員施設223施設、他団体・企業等15施設
- 3)医療安全管理者の育成
 (1)医療安全管理者養成研修会(再掲)
 (2)医療安全担当者中央交流会 7/31 Web開催
 参加者 35名 (令和2年度 参加者 45名)
 (3)医療安全担当者地区交流会
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全地区中止
- 5)医療安全委員会 7/30 8/20 9/17 10/15 2/18 Web開催
 令和3年度医療安全管理に関する調査実施

III 訪問看護の推進に関する事業

【目的】
 在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。

事業計画

実績

1.訪問看護推進事業（千葉県委託）

重点事業3-2

【目的】

在宅療養を円滑に導入するため、訪問看護サービスの内容、利用方法、利用料など訪問看護に関して、県民や看護職等専門職からの相談に応じるとともに、関係職種が訪問看護に関する理解を深め、連携を強化し情報の共有化を図り、安心して在宅療養ができるように訪問看護を推進する。

- 1)訪問看護推進協議会の開催（年2回）
 2)訪問看護に関する総合相談の実施

- 3)訪問看護の普及啓発事業
 (1)地域連携フォーラムの開催

- (2)パンフレットの配布

- 4)訪問看護師指導者育成研修会（年2回）

- 5)訪問看護再就職支援事業
 (1)訪問看護ステーション見学体験事業

1.訪問看護推進事業（千葉県委託）

- 1)訪問看護推進協議会 7/20、12/23
 2)訪問看護に関する総合相談

【相談件数】34件

【相談者内訳】看護職41.2% 県民29.4% 福祉職20.6%、ケアマネジャー 8.8%

【相談内容内訳】訪問看護サービス詳細（訪問看護の導入、施設への訪問、訪問看護指示書、保険、算定等）79.4%
 運営管理について5.9% 処置について5.9%、介護について2.9%、その他5.9%

3)訪問看護の普及啓発事業

- (1)地域連携フォーラム 12/4 Web開催
 テーマ：切れ目のない看護の提供につながる連携～コロナ禍における地域連携～
 内容：講義、グループディスカッション
 参加者：49名（看護師42名、保健師4名、介護支援専門員3名）

- (2)パンフレットの配布

【種類】訪問看護利用の手引き／マイナースとつくる安全で安心な在宅での生活

【方法】当協会ホームページに掲載（ダウンロード方式で配布）

4)訪問看護師指導者育成研修会

- 1回目：9/25 Web開催 参加者 18名
 2回目：10/9 Web開催 参加者 19名
 内容：講義、グループディスカッション

5)訪問看護再就職支援事業

- (1)訪問看護ステーション見学体験事業（8月～2月）
 参加者 6名
 就業者 5名（うち訪問看護ステーション3名）

<p>(2)訪問看護就職フェア（年1回）</p> <p>6)訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会（年1回）</p> <p>2.訪問看護推進事業（協会単独事業）</p> <p>【目的】 在宅医療の中核を担う訪問看護を安定的にかつ質の高い供給を行うために、訪問看護を提供する人材の育成及び訪問看護ステーションの業務の効率化等に向けた支援を行い、訪問看護師の定着を図る。</p> <p>1)訪問看護師人材育成事業</p> <p>(1)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 対象：新卒訪問看護師（1年目）、チャレンジ訪問看護師</p> <p>(2)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及</p> <p>(3)訪問看護師養成講習会の開催（再掲）</p> <p>3.関係機関との連携</p> <p>【目的】訪問看護に関する事業を円滑に推進するために、関係機関との連携を強化し、情報収集等を行い課題解決への参考とする。</p> <p>1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携</p> <p>2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p> <p>(1)千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議開催（年2回）</p>	<p>(2)訪問看護就職フェア 1/15 参加者：19名（未就業8名 就業者8名 教員2名 学生1名） 求人施設：訪問看護ステーション14施設 内容：講話・就業相談 就業者：3名（うち訪問看護ステーション2名）</p> <p>6)訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会 2/19 Web開催 参加者：23施設 28名（自施設にて訪問看護を実施していないのは5施設） (2年度 12名参加) 内容：テーマ「病院からの訪問看護を実現するためには」 講演 事務部門・看護管理者・実践の立場から</p> <p>2.訪問看護推進事業（協会単独事業）</p> <p>1)訪問看護師人材育成事業</p> <p>(1)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 今年度の育成支援実施なし (平成24年度からの実績:新卒者13名、チャレンジ看護師21名)</p> <p>(2)「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業の普及 看護ちば4月号に掲載</p> <p>(3)訪問看護師養成講習会（再掲）</p> <p>3.関係機関との連携</p> <p>2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携</p> <p>(1)千葉県看護協会と千葉県訪問看護ステーション協会との連携会議 7/10 2/5 Web開催</p>
--	--

IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業	
【目的】 看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。	
事業計画	実績
<p>1.「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>【目的】 県民が集う「看護の日」として、県民が看護について関心と理解を深めるとともに、県民とともに歩む信頼される看護のイメージづくりを図り、健康で安心して暮らせる社会づくりの実現に寄与する。さらに、将来の看護職候補である若年層を主なターゲットとすることで、看護人材の確保を目指す。</p>	<p>1.「看護の日」「看護週間」事業</p>

1) Nursing Now キャンペーンの継続

2) 「看護の日・看護週間」事業

第1部 ・日 時 令和3年5月10日(月)～
15日(土)のうち1日

・内 容 ラッピングバスの運行による啓発、出前授業の実施

第2部 ・日 時 令和3年5月15日(土)

・会 場 12地区部会が決定した場所

3) 看護の日実行委員会の開催 (2回)

2. 「まちの保健室」事業

【目的】

県民が気軽に自身や家族の健康について相談ができる場の確保を図るとともに、時代に応じた健康問題を取りあげ、予防の観点から健康教育を実施する。

1) 常設型の開催

(1) 開催場所 12地区部会の決定会場

2) イベント型の積極的な開催

3. 自殺予防対策

1 自殺の原因第1位である「健康問題」を始め様々な悩みの原因について受け止め、ゲートキーパーの役割として、相談先の紹介等解決に向けた支援を行う「心の総合相談窓口」を継続する。

2 県内看護職が、自他ともに生かせるメンタルヘルス対策を習得し、看護の資質の向上を図る。

1) 心の総合相談

(1) 専用電話・専用メールによる相談対応

(2) 自殺予防に関する広報

(3) 相談員研修

2) 人材育成研修の開催 (再掲)

(1) 「看護師のストレスマネジメント ～アンガーマネジメントの視点を取り入れて～」(再掲)

(2) 「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう」(再掲)

(3) 「職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～」(再掲)

4. 関係機関・他団体への協力

1) 小児救急電話相談事業への協力

2) 千葉県認知症初期集中支援推進事業

3) 研修会等への講師紹介や派遣

4) 行事等への参加

2) 「看護の日・看護週間」事業

【第1部】 5/12

(1) ラッピングバス運行

(2) 出前授業の実施 参加者 22名

(3) 若年層・県民へ向けたPR (メディア取材、動画作成・HP掲載)

【第2部】 各地区での行事～中止

【その他】 「看護の日」トークイベント (日本看護協会) 5/9

パブリックビューイング 参加者 14名

3) 看護の日実行委員会 7/28 1/28

2. 「まちの保健室」事業

感染拡大防止のため、常設型、イベント型ともに開催なし

3. 自殺予防対策

1) 心の総合相談

(1) 相談件数 95件 (電話24件、メール71件)

緊急事態宣言等のため、電話相談受付期間は12/3～1/14の15日間とした

相談者 79名 (県民63名、看護職13名)

(2) 自殺予防に関する広報

県内病院や訪問看護ステーション、公的機関、会員施設等へ配布

会館・ナースセンター内設置

2) 人材育成研修の開催 (再掲)

4. 関係機関・他団体への協力

1) 小児救急電話相談事業への協力

勤務表作成

相談員研修の開催 12/18 2/11

千葉県小児救急電話相談事業運営協議会 2/22

5.災害支援対策事業

重点事業4-2, 4-3

【目的】

災害時において、日本看護協会、各都道府県看護協会、千葉県、関係団体、地区部会と連携し、迅速に支援ナースの派遣等ができるよう、平時より連携を強化し、支援体制を整備する。

- 1)災害支援ネットワークの強化
 - (1)災害時における関係機関との連携
 - ・日本看護協会及び都道府県看護協会
 - ・千葉県、関係団体等
 - (2)平常時における連携
 - ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練
 - ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加
- 2)災害に備えた支援体制の整備
 - (1)災害支援ナースの登録促進
 - (2)災害支援ナースの登録・管理
 - (3)災害救護対応マニュアル等の見直し
 - (4)災害時の災害支援ナースの派遣調整
 - (5)災害時必要物品の管理 年1回
- 3)災害支援ナースの育成 **重点事業4-3**
 - (1)「災害支援ナースの基礎知識」(再掲)
 - (2)「災害医療と看護(実践編)」(再掲)
 - (3)災害支援ナース更新・再登録要件講習会
- 4)災害対策委員会の開催 年6回

6.感染症対策事業

重点事業4-1, 4-3

【目的】

新興感染症等の感染対策に関する最新の知識、技術を習得し、看護の対象者や自身及び職場の感染を防ぎ、安全な看護を実践できる看護職を育成する。

- 1)関係機関との連携強化
- 2)支援体制の整備
 - (1)(仮称)感染症対策委員会の設置
 - (2)人材育成

5.災害支援対策事業

- 1)災害支援ネットワークの強化
 - (1)災害時における関係機関との連携
 - ・日本看護協会及び都道府県看護協会
 - ・千葉県、関係団体等
 - (2)平常時における連携
 - ・県内施設、日本看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練11/9～11 災害対策本部会議7回(前年度6回)
 - ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練縮小開催により不参加
- 都道府県看護協会災害看護担当者会議(日本看護協会主催) 12/16 Web会議
- 2)災害に備えた支援体制の整備
 - (2)災害支援ナースの登録・管理 251名
- 3)災害支援ナースの育成
 - (1)「災害支援ナースの基礎知識」(再掲)
 - (2)「災害医療と看護(実践編)」(再掲)災害支援ナースの登録勸奨
 - (3)災害支援ナース更新・再登録要件講習会 2/17 受講者60名(前年度44名)
- 4)災害対策委員会 10/13 12/8 1/12 2/9

6.感染症対策事業

- 2)支援体制の整備
 - (1)(仮称)感染症対策委員会の設置 なし
 - (2)人材育成
 - ①新型コロナワクチン接種技術研修 24回 受講者総数 360名
 - ・新型コロナウィルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務(日本看護協会委託事業)ワクチン接種技術研修 22回 受講者数 299名
 - ・千葉県警委託研修 1回 受講者 21名(看護職16名+薬剤師5名)
 - ・臨床検査技師への出張研修 1回 受講者 40名(臨床検査技師)
 - ②感染症対策強化研修 10回 受講者総数 127名
 - ③訪問看護師対象感染症対策強化研修の実施 3回 受講者総数 35名
 - (3)コロナ禍における「周産期にかかわる看護職の情報交換会」～母子の命を救うために～ 12/11 Web開催 参加者 29名
 - (4)新型コロナウィルス感染症対応看護職員等の人材確保事業
 - 派遣先：沖縄県那覇市内宿泊療養施設
 - 派遣者：看護師
 - 派遣人数：2名
 - 派遣期間：①1/16～1/30
 - ②2/12～2/26

V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業

【目的】

看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。

事業計画	実績
<p>1.職能委員会（職能）</p> <p>1)保健師職能委員会 年6回程度</p> <p>2)助産師職能委員会 年6回程度</p> <p>3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 年6回程度</p> <p>4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 年6回程度</p> <p>2.職能集会・交流会(職能)</p> <p>1)職能集会</p> <p>・開催日 令和3年6月23日(水)</p> <p>・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>(1)保健師職能集会 1回</p> <p>(2)助産師職能集会 1回</p> <p>(3)看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>(4)看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>2)各職能別交流会</p> <p>(1)保健師職能交流会 1回</p> <p>(2)助産師職能交流会(管理者、中堅) 各1回</p> <p>(3)看護師職能交流会(領域Ⅰ) 1回</p> <p>(4)看護師職能交流会(領域Ⅱ) 1回</p> <p>(5)准看護師交流会 1回</p> <p>3.県行政等への要望・意見具申(看護制度)</p> <p>1)県の令和4年度予算等に関する要望書の提出</p> <p>2)県議会等の活動への協力依頼等</p> <p>3)千葉県医療審議会等への参画</p> <p>4.看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>1)国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>2)資格認定制度の推進</p> <p>(1)専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 重点事業2-3</p> <p>(2)特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進 重点事業2-4</p>	<p>1.職能委員会（職能）</p> <p>1)保健師職能委員会 8/18 10/11 12/10 メールによる意見交換実施</p> <p>2)助産師職能委員会 8/6 9/2 9/22 12/15 1/11 3/23</p> <p>3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 8/18 9/27 10/15 11/16 1/21 2/28</p> <p>4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 8/6 9/16 10/7 11/9 12/8 2/2</p> <p>2.職能集会・交流会（職能）</p> <p>1)職能集会</p> <p>・開催日 6/23 Web開催</p> <p>(1)保健師職能集会 参加者 38名</p> <p>(2)助産師職能集会 参加者 14名</p> <p>(3)看護師職能集会(領域Ⅰ) 参加者 95名</p> <p>(4)看護師職能集会(領域Ⅱ) 参加者 19名</p> <p>2)各職能別交流会</p> <p>(1)保健師職能交流会 2/12 (中止)</p> <p>(2)助産師職能交流会(管理者、中堅) 11/24 参加者 8名 2/21 参加者 14名</p> <p>(3)看護師職能交流会(領域Ⅰ) 11/16 参加者 122名</p> <p>(4)看護師職能交流会(領域Ⅱ) 11/18 参加者 50名</p> <p>(5)准看護師交流会 Web開催 9/27 参加者 23名</p> <p>3.県行政等への要望・意見具申(看護制度)</p> <p>1)県の令和4年度予算等に関する要望書の提出 9/9 会員要望数：88件（30名） ナースセンター施設設備に係る要望書の提出 9/9 看護系学校に係る報道内容への対応について 3/3</p> <p>3)千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：125回 関係団体等会議：60回</p> <p>4.看護関連施策に対する提言(看護制度)</p> <p>1)国・日本看護協会等の要望・提言</p> <p>2)資格認定制度の推進</p> <p>(1)専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進</p> <p>(2)特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進</p>

VI 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業

【目的】

在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。

事業計画	実 績																																		
1.訪問看護事業	1.訪問看護事業 (訪問看護師常勤換算 3/31現在6.4名、昨年同時期7.0名)																																		
1)質の高い訪問看護の提供	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">1)質の高い訪問看護の提供</td> </tr> <tr> <td>利用者数延(名)</td> <td>949</td> <td>915</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>介護保険利用者</td> <td>597</td> <td>557</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>医療保険利用者</td> <td>352</td> <td>358</td> <td>△6</td> </tr> <tr> <td>訪問回数(回)</td> <td>5,632</td> <td>5,411</td> <td>221</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内訳</td> <td>介護保険利用者</td> <td>2,985</td> <td>2,793</td> <td>192</td> </tr> <tr> <td>医療保険利用者</td> <td>2,647</td> <td>2,618</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	増減	1)質の高い訪問看護の提供				利用者数延(名)	949	915	34	内訳	介護保険利用者	597	557	40	医療保険利用者	352	358	△6	訪問回数(回)	5,632	5,411	221	内訳	介護保険利用者	2,985	2,793	192	医療保険利用者	2,647	2,618	29
	令和3年度	令和2年度	増減																																
1)質の高い訪問看護の提供																																			
利用者数延(名)	949	915	34																																
内訳	介護保険利用者	597	557	40																															
	医療保険利用者	352	358	△6																															
訪問回数(回)	5,632	5,411	221																																
内訳	介護保険利用者	2,985	2,793	192																															
	医療保険利用者	2,647	2,618	29																															
2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>在宅での看取り(名)</td> <td>17</td> <td>24</td> <td>△7</td> </tr> <tr> <td>人工呼吸器装着患者(名)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小児(名)</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援				在宅での看取り(名)	17	24	△7	人工呼吸器装着患者(名)	4	4	0	小児(名)	4	3	1																		
2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援																																			
在宅での看取り(名)	17	24	△7																																
人工呼吸器装着患者(名)	4	4	0																																
小児(名)	4	3	1																																
3)24時間、緊急時の訪問看護の提供	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">3)24時間、緊急時の訪問看護の提供</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急訪問延(回)</td> <td>261</td> <td>221</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>休日緊急訪問延(回)</td> <td>93</td> <td>66</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>*8月・9月、新型コロナウイルス感染症患者6事例、37回訪問(全て緊急訪問)</p>	3)24時間、緊急時の訪問看護の提供				緊急訪問延(回)	261	221	40	休日緊急訪問延(回)	93	66	27																						
3)24時間、緊急時の訪問看護の提供																																			
緊急訪問延(回)	261	221	40																																
休日緊急訪問延(回)	93	66	27																																
2.居宅介護支援事業	2.居宅介護支援事業 (ケアマネージャー常勤換算 3/31現在1.0名、昨年同時期と同じ)																																		
1)ケアプランの提供	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和2年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">1) ケアプランの提供</td> </tr> <tr> <td>ケアプラン作成(件)</td> <td>289</td> <td>201</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table>		令和3年度	令和2年度	増減	1) ケアプランの提供				ケアプラン作成(件)	289	201	88																						
	令和3年度	令和2年度	増減																																
1) ケアプランの提供																																			
ケアプラン作成(件)	289	201	88																																
2)地域のネットワークづくり	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">2) 地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>担当者会議(回)</td> <td>39</td> <td>21</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	2) 地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)				担当者会議(回)	39	21	18																										
2) 地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)																																			
担当者会議(回)	39	21	18																																
3)利用者の申請代行	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">3) 利用者支援(介護認定支援業務)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者の申請代行(件)</td> <td>39</td> <td>44</td> <td>△5</td> </tr> </tbody> </table>	3) 利用者支援(介護認定支援業務)				利用者の申請代行(件)	39	44	△5																										
3) 利用者支援(介護認定支援業務)																																			
利用者の申請代行(件)	39	44	△5																																
3.訪問看護の普及	3.訪問看護の普及																																		
1)訪問看護研修生の受入れ	1)訪問看護研修生の受入れ：依頼なし																																		
2)看護学生実習の受入れ	2)看護学生実習の受入れ：31名6校、延50日間																																		
4.地域ニーズに応じた運営体制の整備	4.地域ニーズに応じた運営体制の整備																																		
1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援	1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 在宅看取り件数延べ17名(がん末期6名、ALS2名)																																		
2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回	2)ちば訪問看護ステーション定例会議 4/20 5/18 6/15 7/20 9/14 10/12 11/16 12/14 1/11 2/15 3/15																																		
3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年2回程度	3)ちば訪問看護ステーション運営会議 5回 4/20 6/1 10/12 1/11 3/15																																		
5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	5.医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携																																		
1)医療機関、介護支援専門員等との連携 (1)地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加	1)医療機関、介護支援専門員等との連携 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 2回 7/6 9/14 10/20 10/26 11/17 11/27 12/17 1/19 1/26 2/26 3/18 3/26																																		
2)利用者確保のための広報活動																																			
6.職員の資質の向上	6.職員の資質の向上																																		
1)事例検討ミーティング	1)事例検討ミーティング 4/20 5/18 6/15 7/20 9/14 10/12 12/14 2/15																																		

<p>2)研修会・学会等への参加</p> <p>3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加</p> <p>4)訪問看護師クリニカルラダーの検討</p> <p>7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての の公益的・先駆的な取組み</p> <p>2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり</p> <p>3)経営の安定化</p> <p>4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 1回</p>	<p>2)研修会・学会等への参加</p> <p>訪問看護師対象感染対策強化研修 10名</p> <p>千葉県感染症リーダー研修 1名</p> <p>千葉県看護協会生涯学習計画研修 6名</p> <p>3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加 6/21</p> <p>4)訪問看護師クリニカルラダーの検討</p> <p>担当グループによる定期的な検討と案を作成</p> <p>7.ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進</p> <p>1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取組み</p> <p>2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり</p> <p>5グループにより職場の改善に向けて活動</p> <p>感染対策マニュアル、訪問看護師クリニカルラダーの作成</p> <p>3)経営の安定化</p> <p>看護師1人1日当たり訪問回数3.4件(目標訪問回数を達成)</p> <p>4)看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会 3/16</p>
--	--

VII その他この法人が目的を達成するために必要な事業

<p>【目的】</p> <p>1. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。</p> <p>2. 情報提供及び広報を行う。</p> <p>3. 当協会会員に対する相互扶助等の(福利厚生)事業を行う。</p> <p>4. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。</p>

事業計画	実績
<p>【公益目的事業】</p> <p>1.地区部会活動事業</p> <p>【目的】</p> <p>地域において、看護職の資質の向上を図るとともに、医療の担い手として誇りをもち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献することを目的とする。</p> <p>1)具体的な地区部会活動</p> <p>(1)役員会 年5回程度</p> <p>(2)連絡会 年2回程度</p> <p>(3)研修会 年3回</p> <p>(4)まちの保健室の開催(再掲)</p> <p>(5)「看護の日」「看護週間」事業(再掲)</p> <p>(6)その他、地区特有の事業</p> <p>①合同就職説明会の開催(再掲)</p> <p>②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲)</p> <p>2)地区部会長会の開催 年2回</p> <p>2.情報提供、広報事業</p> <p>1)千葉県看護協会の広報</p> <p>(1)機関誌「看護ちば」の発行 年5回(定期4、号外1)</p>	<p>1.地区部会活動事業</p> <p>1)具体的な地区部会活動</p> <p>(1)役員会 各地区 2～7回</p> <p>(2)連絡会 各地区 1～2回</p> <p>(3)研修会 各1回(印旛、長夷)</p> <p>対面に代わる実施方法の検討</p> <p>(6)その他、地区特有の事業</p> <p>①合同就職説明会(再掲)開催なし</p> <p>2)地区部会長会 7/28 1/28 Web開催</p> <p>2.情報提供、広報事業</p> <p>1)千葉県看護協会の広報</p> <p>(1)機関誌「看護ちば」の発行</p> <p>①発行 年5回(4月号、総会特集号、7月号、10月号、1月号)</p> <p>②アンケート調査</p> <p>期 間:10/5～10/25</p> <p>回答方法:インターネット(ホームページからアクセス)にて回答</p> <p>回 収 数:1,356人(回収率4.8%)</p>

<p>(2)ホームページの充実 (3)協会パンフレット等の活用</p> <p>2)広報委員会の開催 年6回</p>	<p>調査結果：看護ちばについて 毎号読んでいる35.7%、時々読んでいる41.3%、 読んでいない23.0% 興味がある記事（複数回答） 特集31.6%、医療安全シリーズ20.9%、フィジカル アセスメント19.0% 発行方法 現在と同じ77.4%、電子化してほしい20.4%、 その他2.2%</p> <p>(2)ホームページの充実 (3)協会パンフレット等の活用 (4)広報検討会議 4/28 5/26 6/30 7/28 8/25 9/29 2)広報委員会 8/18 9/16 10/21 11/18 1/20 2/17</p>
<p>【収益目的事業】</p> <p>1.販売手数料及び出展広告に関する事業</p> <p>1)看護関連図書の紹介 2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務 (日本看護協会)</p> <p>2.会員サービス・福祉の充実等</p> <p>1)会員への相談支援、情報提供 2)看護職の表彰</p> <p>3)慶弔見舞金等の給付 4)災害時の支援(再掲) ①災害 ②感染症</p> <p>5)会員福利厚生サービスの実施・広報</p>	<p>【収益目的事業】</p> <p>1.販売手数料及び出展広告に関する事業</p> <p>1)看護関連図書の紹介 2)広告掲載業者の募集 3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会）</p> <p>2.会員サービス・福祉の充実等</p> <p>1)会員への相談支援、情報提供 2)看護職の表彰 (1)春の叙勲（瑞宝双光章2名）、秋の叙勲（瑞宝単光章1名） (2)千葉県看護協会会長表彰 281名 3)慶弔見舞金等の給付 弔慰金 10件 4)災害時の支援(再掲) ①災害 ②感染症 支援物資配布：延べ498施設 クールベスト1,960着（400着）、防護服2,750枚（250枚）、サ- ジカルマスク18,750枚（750枚）、N95マスク8,400枚（400枚）、 パルスオキシメーター 150個（50個）、非接触体温計155個（40 個）、消毒用アルコール400個（300個）、ニトリルグローブS・ M52,000枚（12,000枚） ※（ ）は日本看護協会からの支援 経口補水液 1,929本（業者直送） 防護具等・パルスオキシメーター・タブレット端末他（抽選）</p> <p>5)会員福利厚生サービスの実施・広報</p>
<p>【法人】</p> <p>1.組織運営に関する会議等の開催</p> <p>1)定時総会 年1回 ・開催日 令和3年6月23日(水) ・場 所 東京ベイ幕張ホール</p> <p>2)理事会 年6回程度 3)監事監査 年2回（5月、11月） 4)施設等会員代表者会 年2回 5)地区部会長会（再掲） 年2回（7月、1月） 6)保助看護能委員会（再掲） 年6回程度 7)推薦委員会 年6回程度</p>	<p>【法人】</p> <p>1.組織運営に関する会議等の開催</p> <p>1)定時総会 6/23 Web開催 出席者 37名 視聴者 68名 書面議決権行使：43名 委任状：18,074名</p> <p>審議事項</p> <p>第1号議案 令和2年度事業報告及び決算報告並びに監査報告に ついて 第2号議案 令和3年度改選役員及び推薦委員の選任について 第3号議案 会員以外の者からの監事の選任について 第4号議案 2022年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について</p> <p>2)理事会 4/16 5/20 6/23 7/16 10/14 12/9 2/17 3)監事監査 5/10 11/12 4)施設等会員代表者会 7/16 1/25 5)地区部会長会（再掲） 6)保助看護能委員会（再掲） 7)推薦委員会 9/22 10/28 11/25 1/27 2/18 3/17</p>

<p>8) 常任委員会（再掲） 年6回程度 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会</p> <p>9) 特別委員会 ナースセンター運営委員会（再掲） 認定看護管理制度教育課程運営委員会 看護職定着・確保対策協議会</p> <p>10) 千葉県看護連盟との連携 合同研修会</p>	<p>8) 常任委員会（再掲） 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会</p> <p>9) 特別委員会（再掲） ナースセンター運営委員会 認定看護管理制度教育課程運営委員会 看護職定着・確保対策協議会</p> <p>10) 千葉県看護連盟との連携 合同研修会 1/17 Web開催</p>
<p>2. 会員増の促進</p> <p>1) 新規・再入会の促進</p> <p>2) 継続会員への勧奨</p> <p>3) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (1) 看護学生の表彰 (2) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (3) 協会の機能と役割に係る特別講話</p> <p>4) 会員増促進委員会の開催（年6回）</p>	<p>2. 会員増の促進</p> <p>1) 新規・再入会の促進 28,794名（うち新規入会者数 2,297名） (1) 入会促進啓発物配布（他通知同梱発送による） 入会促進ツール（日本看護協会）302施設 入会案内 訪問看護ステーション454施設 支援物品配付施設 196施設</p> <p>2) 継続会員への勧奨 (1) 入会後の案内「入会されたあなたへ～information～」等の送付 2,297名</p> <p>3) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 (1) 看護学生の表彰 対象：36校、36名 (2) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 対象：令和3年度卒業生42校、2,588名 (3) 協会の機能と役割に係る特別講話 対象：14校</p> <p>4) 会員増促進委員会 8/31 10/13 12/1 1/19 2/16 3月書面開催</p>
<p>3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等）</p> <p>1) 令和4年度事業計画・収支予算等の提出（3月）</p> <p>2) 令和2年度定期報告（事業報告・決算報告等）（6月）</p> <p>3) 役員等の変更登記及び届出</p>	<p>3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等）</p> <p>1) 令和4年度事業計画・収支予算等の提出（3月）</p> <p>2) 令和2年度定期報告（事業報告・決算報告等） 6/25</p> <p>3) 役員等の変更登記及び届出 8/30</p>
<p>4. 日本看護協会との連携</p> <p>1) 法人委員会・理事会</p> <p>2) 地区別法人委員会</p> <p>3) 職能委員長会</p> <p>4) 日本看護協会通常総会代議員選出</p>	<p>4. 日本看護協会との連携</p> <p>1) 法人委員会・理事会 法人委員会 5/7 7/30 9/17 11/26 2/25 Web開催 理事会 5/7 6/9 7/29 30 9/17 11/25・26 2/24・25 Web開催 日本看護協会通常総会 6/9 書面議決権行使 代議員28名 全国職能交流集会 6/10</p> <p>2) 地区別法人委員会 10/7・8 Web開催 地区別職能委員長会 10/8 Web開催</p> <p>3) 職能委員長会 Web開催 保健師職能委員長会 7/5 3/3 助産師職能委員長会 7/7 3/3 看護師職能委員長会Ⅰ 7/9 3/3 看護師職能委員長会Ⅱ 7/7 3/3</p> <p>4) 日本看護協会通常総会代議員選出 2021年度日本看護協会通常総会代議員等研修会 5/13 Web開催 参加者 49名（代議員25名 予備代議員24名） 2022年度日本看護協会通常総会代議員選出 6/23 （代議員28名 予備代議員30名）</p>
<p>5. 行政等との連携</p> <p>1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>2) 三師会、日本助産師会及び関係団体との連携</p> <p>3) 関係団体の行事等への協賛・後援</p>	<p>5. 行政等との連携</p> <p>1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画</p> <p>2) 三師会、日本助産師会及び関係団体との連携</p> <p>3) 関係団体の行事等への協賛・後援 後援14件</p>

6.役員・職員の資質の向上と福利厚生

1)研修の実施

(1)担当業務に係る外部研修等の受講

(2)集合研修の実施

2)健康診断およびインフルエンザ予防接種

3)有給休暇の取得促進

7.協会資産の管理

1)看護会館等の管理

(1)看護会館の管理

- ①保全等
- ②環境整備

(2)協会物品の管理

- ①固定資産台帳の管理
- ②物品台帳の管理

(3)公用車の管理

2)情報資産の管理・活用

(1)情報資産の管理

- ①情報セキュリティの確保
- ②個人情報関連業務の標準化

(2)情報資産の活用

- ①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有
- ②新研修管理システム(manaable)の管理・運用

6.役員・職員の資質の向上と福利厚生

1)研修の実施

(1)担当業務に係る外部研修等の受講

- 感染症対策強化研修 5/19 2名 6/8 1名 8/28 4名
- 職業紹介責任者講習 5/24 4名 10/25 1名
- 第7回日本医療安全学会学術総会 6/4 1名
- 心不全訪問看護セミナー 6/30 1名
- 都道府県ナースセンター相談員向けキャリアコンサルティング研修
7/13 1名 7/27 2名 11/8 1名
- その人らしく生きることを支えるスピリチュアルケア 8/26 1名
- 在宅・介護施設における看取り 1/17 1名
- 地域における看取りを考える 1/17 1名
- 認知症初期集中支援チーム員研修 1/22 1名
- がん医療の最新知識と患者・家族の療養支援 1/24～26 1名
- 認知症初期集中支援チームフォローアップ研修 1/28 1名
- 日本看護サミット2021 2/4 8名
- 勤務間インターバル制度導入促進シンポジウム 2/18 6名
- 患者を守り自分を守る看護倫理の基礎 2/21 1名
- タイムマネジメント ～ライフもワークも生き生きと～ 2/25 1名
- 認知疾患医療センター研修 2/26 1名
- 認知症地域支援推進員研修会 3/16 1名
- 令和3年度日本訪問看護財団研修 診療報酬改定セミナー
3/19 1名

(2)集合研修の実施

2)健康診断およびインフルエンザ予防接種

3)有給休暇の取得促進

7.協会資産の管理

1)看護会館等の管理

(1)看護会館の管理

- ①保全等
- ②環境整備

研修室、会議室等に空気清浄機整備

(2)協会物品の管理

- ①固定資産台帳の管理
- ②物品台帳の管理

(3)公用車の管理

2)情報資産の管理・活用

(1)情報資産の管理

- ①情報セキュリティの確保
- ②個人情報関連業務の標準化

(2)情報資産の活用

- ①グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有
- ②新研修管理システム(manaable)の管理・運用(4/7運用開始)
- ③会員管理システムの管理・運用
施設向けWebシステム「施設専用サイト」に関するアンケート調査の実施
回収数：265施設(回収率46.2%)
調査結果：利用状況
利用している66.0%、知っているが現在は利用していない27.2%、「施設専用サイト」を知らない6.8%
よく利用する機能(複数回答)
会費納入状況の確認76.4%、会員一覧の確認74.4%

令和3年度 生涯教育研修 実施状況(4～3月)

★千葉県委託研修 ☆千葉市委託研修

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	日数	定員(人)	受講数(人)	受講率(%)
分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育(15研修中14研修終了・1研修中止)								
ケアする力	I～V	1	新型コロナウイルス感染症の現状と対応～知っておきたい COVID-19 の基礎知識～	ライブ	0.5	100	88	88.0
	I～V	2	多職種連携による入退院支援(公開研修 訪問看護師養成講習会と合同)	ライブ	1	80	64	80.0
	II～V	3	増え続ける感染症の予防と対策 ～結核・HCV・性感染症等～	ライブ	1	100	17	17.0
	II～V	4	【新規】臨床現場で遭遇するアレルギー疾患の基礎知識	ライブ	1	100	33	33.0
	II～V	5	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識【診療報酬加算対応】	対面→ライブ	2	50	40	80.0
	II～V	6	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識【診療報酬加算対応】	対面→ライブ	2	50	43	86.0
	II～V	7	【JNA収録DVD研修】認知症高齢者の看護実践に必要な知識【診療報酬加算対応】	対面→ライブ	2	50	68	136.0
	III～V	8	★看護職員認知症対応力向上研修	対面→ライブ	1	50	35	70.0
	III～V	9	☆認知症対応力向上研修【診療報酬加算対応】	対面→ライブ	2	50	59	118.0
	I	10	准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全～転倒転落を防ぐケア～	ライブ	1	20	9	45.0
	I	11	【JNAオンデマンド活用研修】准看護師のためのスキルアップ研修～誤嚥性肺炎を予防する食事介助～	対面	1	20	5	25.0
協働する力	II～V	12	医療から在宅へのバトンタッチ	ライブ	3	100	31	31.0
	III～V	13	【JNAインターネット配信(オンデマンド)研修】医療安全管理者養成研修会【診療報酬加算対応】	対面→ライブ	2	100	93	93.0
	III～V	14	小児虐待の芽をつむ多職種連携	ライブ	1	40	27	67.5
共通	III～V	15	看護職等を対象とする禁煙支援研修	ライブ	1	50	中止	-
分類1 小計					21	910	612	67.3
分類2 ラダーと連携した継続教育(75研修中70研修終了・5研修中止)								
とらえる力	II	16	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう①検査データの読み方・活かし方	ライブ	1	100	45	45.0
	II	17	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう②意識障害のアセスメント	ライブ	1	100	25	25.0
	II	18	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう③呼吸のアセスメント	ライブ	1	100	37	37.0
	II	19	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう④循環のアセスメント	ライブ	1	100	43	43.0
	II	20	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう⑤腹部症状のアセスメント	ライブ	1	100	11	11.0
III～V	21	視る!聴く!育てる!後輩育成～コミュニケーションスキルを学ぶ～	ライブ	1	100	57	57.0	
ケアする力	I～V	22	【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～	対面	2	50	36	72.0
	I～V	23	【JNA収録DVD研修】災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～	対面→ライブ	2	50	46	92.0
	III	24	災害医療と看護(実践編)	ライブ	1	100	69	69.0
	V	25	災害支援ナース更新・再登録要件 講習会	ライブ	1	70	60	85.7
	II～III	26	糖尿病患者のセルフケア支援～糖尿病の最新知識と看護～	ライブ	1	100	32	32.0
	III～V	27	糖尿病患者のセルフケア支援～糖尿病性腎症の重症化予防～	ライブ	1	100	19	19.0
	II～III	28	高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護(基礎編)	ライブ	1	100	18	18.0
	II～V	29	高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護(生活編)	ライブ	1	100	36	36.0
	II～V	30	地域で生活を支える看護職のための感染管理～高齢者施設・訪問看護の場で活かす感染管理～	ライブ	1	60	17	28.3
	II～V	31	【新規】急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本-スキン-ケアの基礎知識と褥瘡予防ケア-	ライブ	1	100	85	85.0
	II～V	32	病院から在宅につながる褥瘡の予防とケア	ライブ	2	100	33	33.0
	II～V	33	【新規】地域における看取りを考える～在宅・介護施設における看取り～	ライブ	1	60	42	70.0
	協働する力	III	34	がん医療の最新知識と患者・家族の療養支援	ライブ	3	100	26
III		35	医療安全III～医療事故事例を法律から見てみる～	ライブ	1	100	40	40.0
II		36	リーダーを始める人のためのコーチング	ライブ	1	100	73	73.0
III		37	リーダーシップ研修～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～	ライブ	2	100	83	83.0
III		38	★新生児科等からの在宅移行支援研修	対面	5	20	中止	-
意思決定を支える力	II	39	患者を守り・自分を守る看護倫理の基礎	ライブ	1	100	42	42.0
	III～V	40	その人らしい生き方を支える意思決定への支援～療養者へ寄り添うために～	ライブ	1	50	32	64.0
	III～V	41	その人らしく生きることを支えるスピリチュアルケア	ライブ	1	100	37	37.0

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	日数	定員(人)	受講数(人)	受講率(%)
共通	I	42～51	フレッシュセミナー(春)(秋)	ライブ	10	2,000	680	34.0
		52	★新人看護職員研修(実習有)	ライブ/対面		15	中止	—
		53	★新人看護職員研修～情報管理・感染管理～	ライブ	1	50	8	16.0
		54	★新人看護職員研修～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～	ライブ	1	50	18	36.0
		55	★新人看護職員研修～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	1	50	9	18.0
		56	★新人看護職員研修～フィジカルアセスメント～	ライブ	1	50	16	32.0
共通	I	57	★新人看護職員研修～心電図・心肺蘇生法(BLS)～	ライブ	1	50	15	30.0
		58	★新人看護職員研修～スキンケア～	ライブ	1	50	8	16.0
		59	★新人看護職員研修～物品管理と経済効果・死後のケア～	ライブ	1	50	8	16.0
		60	★新人看護職員研修～コミュニケーションの技法・災害対策～	ライブ	1	50	7	14.0
		61	★新人助産師研修(実習有)	ライブ/対面		10	中止	—
		62	★新人助産師研修～産科医療補償制度・産科ガイドライン・CTG判読～	ライブ	1	30	10	33.3
		63	★新人助産師研修～ハイリスク妊産婦ケア～	ライブ	1	30	6	20.0
		64	★新人助産師研修～産科救急・助産ケアの実際～	ライブ	1	30	6	20.0
		65	★新人助産師研修～新生児のフィジカルアセスメントとケア～	ライブ	1	30	6	20.0
		66	★新人助産師研修～妊娠糖尿病妊産婦へのケア～	ライブ	1	30	5	16.7
		67	★新人助産師研修～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	1	30	4	13.3
		68	★新人助産師研修～母乳育児～	ライブ	1	30	8	26.7
		69	★新人助産師研修～家族への支援・リフレクション～	ライブ	1	30	4	13.3
共通	I～II	70～79	共に考えよう!2年目として「やりがいのある働き方」	ライブ	10	2,000	371	18.6
	II～III	80	★実地指導者研修	対面→ライブ	3	50	26	52.0
		81	★実地指導者研修	対面	3	50	39	78.0
	II～V	82	看護研究 基礎編～研究計画書をつくる～	対面→ライブ	3	50	17	34.0
	II～V	83	看護研究 応用編～研究の調査から論文のまとめ方～	対面→ライブ	2	50	21	42.0
	II～V	84	看護研究初心者のためのプレゼンテーション～効果的な口演・示説に向けて～	対面→ライブ	2	50	9	18.0
	II	85	タイムマネジメント～ワークもライフも生き生きと!～	ライブ	1	100	21	21.0
	II～III	86	【新規】周手術期の看護～麻酔の機序と術後ケア～	ライブ	1	100	39	39.0
	III～IV	87	【新規】基礎から学ぶ臨床推論～看護の臨床判断能力を高めるスキル～	ライブ	2	100	65	65.0
IV～V	88	これからのキャリア発達・キャリア開発を考える～人生100年代を見据えて～	ライブ	1	100	32	32.0	
保健師	A-1	89	【新規】地域保健を効果的に進めるための保健師研修～個々の事例への支援技術の向上を目指して～	対面	3	20	中止	—
助産師	C-II～III	90	助産実践能力向上研修～周産期のメンタルヘルスケア～	対面	1	30	中止	—
分類2 小計					85	7,530	2,502	33.2
分類3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育(8研修中8研修終了)								
共通	M-I～IV	91	看護管理者研修	ライブ	5	100	45	45.0
		92	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修【診療報酬加算対応】	対面→ライブ	2	50	45	90.0
		93	職場適応を支えるメンタルヘルス～うつ・発達障害の基本的知識とその対応～	ライブ	1	100	19	19.0
		94	ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)について学ぼう!	ライブ	1	100	13	13.0
		95	【新規】【JNAオンデマンド活用研修】看護師のクリニカルラダー(日本看護協会版)の理解と施設内教育への活用	対面→ライブ	1	40	40	100.0
		96	【公開講座】認定看護管理者教育課程ファーストレベル 特別講演	対面→ライブ	1	50	3	6.0
		97	【公開講座】認定看護管理者教育課程ファーストレベル 特別講演	対面→ライブ	1	50	2	4.0
		98	【公開講座】認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修 特別講演	対面→ライブ	1	50	2	4.0
分類3 小計					13	540	169	31.3

分類	ラダー	No	研修名	研修方法	日数	定員(人)	受講数(人)	受講率(%)
分類4 専門能力開発を支援する教育体制の充実にに向けた継続教育 (2 研修中 2 研修終了)								
共通	III~IV	99	★教育担当者研修	対面	5	50	42	84.0
	III	100	人を育てる臨地実習	対面→ライブ	2	50	61	122.0
分類4 小計					7	100	103	103.0
分類5 資格認定教育 (6 研修中 5 研修終了・1 研修中止)								
共通	I	101	訪問看護師養成講習会	e-ラン・実習 対面→ライブ	3	20	10	50.0
	III~IV	102	★喀痰吸引等指導者養成講習会	対面	2	30	中止	—
	III~IV	103	★令和3年度千葉県看護教員養成講習会	対面→ライブ /対面	10ヵ月	40	23	57.5
マネジメント 共通	M-I	104	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル -第39回-	対面→ライブ	21	60	61	101.7
	M-I	105	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル -第40回-	対面→ライブ	21	45	44	97.8
	M-I ~II	106	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル -第20回-	対面→ライブ /対面	38	35	35	100.0
分類5 小計					83 + 10ヵ月	200	173	86.5
分類1~5 合計						9,280	3,559	38.4
オンデマンド研修 (千葉県看護協会ライブ配信した研修を収録 14 研修)								
分類1 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 (2 研修中 2 研修終了)								
ケア する力	II~V	107	増え続ける感染症の予防と対策 ~結核・HCV・性感染症等~	オンデマンド		100	2	2.0
	I	108	准看護師のためのスキルアップ研修 認知症ケアと医療安全 ~転倒転落を防ぐケア~	オンデマンド		20	1	5.0
オンデマンド分類1 小計						120	3	2.5
分類2 ラダーと連携した継続教育 (12 研修中 12 研修終了)								
とらえる力 ニーズを	II	109	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう①検査データの読み方・活かし方	オンデマンド		100	7	7.0
	II	110	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう②意識障害のアセスメント	オンデマンド		100	8	8.0
	II	111	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう③呼吸のアセスメント	オンデマンド		100	11	11.0
	II	112	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう④循環のアセスメント	オンデマンド		100	11	11.0
	II	113	【新規】フィジカルアセスメントの基本を学ぼう⑤腹部症状のアセスメント	オンデマンド		100	8	8.0
ケアする力	II~III	114	糖尿病患者のセルフケア支援~糖尿病の最新知識と看護~	オンデマンド		100	2	2.0
	III~V	115	糖尿病患者のセルフケア支援 ~糖尿病性腎症の重症化予防~	オンデマンド		100	1	1.0
	II~III	116	高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護(基礎編)	オンデマンド		100	5	5.0
	II~V	117	高齢者に起こりやすい機能低下と生活適応を支える看護(生活編)	オンデマンド		100	4	4.0
	II~V	118	【新規】急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本-スキン-ケアの基礎知識と褥瘡予防ケア-	オンデマンド		100	5	5.0
	II~V	119	病院から在宅につなぐ褥瘡の予防とケア	オンデマンド		100	3	3.0
	III	120	がん医療の最新知識と患者・家族の療養支援	オンデマンド		100	6	6.0
オンデマンド分類2 小計						1,200	71	5.9
オンデマンド分類1~2 合計						1,320	74	5.6
総合計						10,600	3,633	34.3

分類	タイトル	研修方法	日数	参加者数
トピックス	保健師研修「新型コロナウイルス感染症第6波に備える」	対面	0.5	14
トピックス	看護師基礎教育を考える会 (日本看護協会共催事業)	ライブ	0.5	157

1. 会計基準について

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、本会の決算書は新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」に基づいて作成されることとなり、当該会計基準適用により以下のとおりとなっている。

*「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

1) 会計区分について

会計区分については、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3会計区分にて構成されている。

(1)「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。

(2)「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。

(3)「法人会計」には、事業費以外の管理部門経費などが計上されている。

2) 財務3基準について

公益社団法人には、法定要件として次の財務3基準を満たすことが求められる。

(1)収支相償の原則（認定法第5条6号、第14条）

公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えてはならない。

(2)公益目的事業比率（認定法第5条8号、第15条）

公益目的事業の費用が、事業費・管理費の合計額の50%以上でなければならない。

(3)遊休財産保有制限（認定法第5条9号、第16条）

遊休財産額（使途を定めない財産）が保有制限額（1年分の公益目的事業費相当額）を超えてはならない。

2. 令和3年度決算の概要

令和3年度決算においては、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染防止対策による教育研修、会議、イベント等開催方法の変更中止があり、収益・費用の項目別予算執行に差異が発生している。

全体決算の規模は、収益で422,544千円（予算執行率99.05%）、費用で388,517千円（予算執行率97.03%）であり、主な点は以下のとおりである。

1) 経常収益について（合計422,544千円）

(1)受取人会金・年会費は199,290千円で、予算と比較して1,782千円の減額となっている。なお受取人会金・受取年会費については、会費規程に基づき、その50%を公益目的事業会計へ計上している。（残額は法人会計へ計上）

(2)研修会参加料は47,046千円で、予算と比較して7,800千円の減額となっている。

(3)公益事業受託料は80,865千円で、予算と比較して3,543千円の増額となっている。

(4)訪問看護・居宅介護事業収益は64,856千円で、予算と比較して7,127千円の増額となっている。

(5)受取補助金等は予算額と同額の9,605千円となっている。

(6)受取寄付金・国庫補助金は13,186千円で、予算と比較して6,808千円の減額となっている。

2) 経常費用について（合計388,517千円）

(1)公益目的事業会計の経常費用の合計は340,147千円で、予算と比較して9,565千円の減額となっている。

(2)収益事業等会計の経常費用の合計は9,685千円で、予算と比較して189千円の減額である。

(3)法人会計の経常費用の合計は38,685千円で、予算と比較して2,138千円の減額である。

3) 令和3年度決算における財務3基準について

(1)収支相償

①協会全体経常収益422,544千円

= 公益事業316,411千円 + 収益事業等5,018千円 + 法人会計101,115千円

②公益事業経常収益316,411千円 - 公益事業経常費用340,147千円

= 公益事業経常増減▲23,736千円

③▲23,736千円 + 各種調整額合計966千円 = ▲22,770千円

→公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えていないため、基準を満たしている。

*各種調整額合計…支出を伴わない費用や、費用計上されない支出などを調整したもの

(2)公益目的事業比率

①協会全体経常費用388,517千円

= 公益事業340,147千円 + 収益事業等9,685千円 + 法人会計38,685千円

②公益事業経常費用340,147千円 ÷ (経常費用合計388,517千円 + 記念事業積立額400千円) = 87.46% ≧ 50%

→公益目的事業の費用が、事業費・管理費等の合計額の50%以上であるため、基準を満たしている。

(3)遊休財産保有制限

①総資産1,128,505千円 - 負債計209,495千円 - (控除対象財産634,958千円 - 対応負債10,822千円) = 294,874千円

②令和3年度末遊休財産額294,874千円 ≦ 保有制限額340,147千円

→遊休財産額が保有上限額を超えていないため、基準を満たしている。

*控除対象財産・・・公益目的保有財産など目的の定められた財産で、遊休財産の範囲から除かれる財産をいう。

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	425,988,773	380,099,336	45,889,437
未収入金	40,989,306	72,635,975	△31,646,669
立替金	26,140	81,647	△55,507
前払費用	1,717,484	2,214,027	△496,543
仮払金	3,300	0	3,300
流動資産合計	468,725,003	455,030,985	13,694,018
2. 固定資産			
1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	7,506,667	6,231,250	1,275,417
退職給付引当資産	38,163,845	35,064,540	3,099,305
看護会館取得資産	436,897,496	412,004,460	24,893,036
記念事業積立資産	3,600,000	3,200,000	400,000
什器備品	7,321,093	0	7,321,093
ソフトウェア	2,024,917	0	2,024,917
特定資産合計	495,514,018	456,500,250	39,013,768
3) その他固定資産			
建物	97,992,253	102,490,580	△4,498,327
構築物	1,319,979	1,681,419	△361,440
車両運搬具	110,891	221,770	△110,879
什器備品	4,512,156	6,439,886	△1,927,730
図書	31,331,660	31,214,424	117,236
リース資産	10,685,520	15,208,560	△4,523,040
その他固定資産	16,907,869	26,692,812	△9,784,943
電話加入権	1,186,490	1,186,490	0
保証金	105,000	104,000	1,000
リサイクル預託金	113,730	113,730	0
その他固定資産合計	164,265,548	185,353,671	△21,088,123
固定資産合計	659,779,566	641,853,921	17,925,645
資産合計	1,128,504,569	1,096,884,906	31,619,663
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,928,145	3,990,820	2,937,325
リース債務	10,822,140	15,345,180	△4,523,040
前受金	564,000	564,000	0
前受会費	143,772,000	139,698,000	4,074,000
預り金	1,042,822	1,041,639	1,183
仮受金	695,000	16,000	679,000
流動負債合計	163,824,107	160,655,639	3,168,468
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	7,506,667	6,231,250	1,275,417
退職給付引当金	38,163,845	35,064,540	3,099,305
固定負債合計	45,670,512	41,295,790	4,374,722
負債合計	209,494,619	201,951,429	7,543,190
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	1,920,500	0	1,920,500
寄付金	18,928,673	30,799,673	△11,871,000
指定正味財産合計	20,849,173	30,799,673	△9,950,500
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(9,346,010)	(0)	(9,346,010)
2. 一般正味財産	898,160,777	864,133,804	34,026,973
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(440,497,496)	(415,204,460)	(25,293,036)
正味財産合計	919,009,950	894,933,477	24,076,473
負債及び正味財産合計	1,128,504,569	1,096,884,906	31,619,663

正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	会計区分	収益事業等会計				計	法人会計	内部取引 消去	合計
		公益目的 事業会計	施設の貸与 等事業	販売手数料及 び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
1) 経常収益									
特定資産運用益	[4,127]	[0]	[27]	[32]	[59]	[486]	[△0]	[4,672]	
特定資産受取利息	4,127	0	27	32	59	486		4,672	
受取入会金	[13,776,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[13,776,000]	[△0]	[27,552,000]	
受取入会金	13,776,000	0	0	0	0	13,776,000		27,552,000	
受取会費	[85,869,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[85,869,000]	[△0]	[171,738,000]	
正会員受取会費	85,869,000	0	0	0	0	85,869,000		171,738,000	
事業収益	[193,969,435]	[0]	[5,004,710]	[10,350]	[5,015,060]	[0]	[△0]	[198,984,495]	
教育研修会参加料	47,045,780	0	0	0	0	0		47,045,780	
看護職員の資質向上研修事業受託料	17,793,977	0	0	0	0	0		17,793,977	
ナースセンター事業受託料	41,441,000	0	0	0	0	0		41,441,000	
ナースセンター会館管理受託料	5,840,000	0	0	0	0	0		5,840,000	
小児救急電話相談事業等受託料	1,192,300	0	0	0	0	0		1,192,300	
日本看護協会受託料	8,415,689	0	4,784,710	0	4,784,710	0		13,200,399	
訪問看護療養費収益	55,138,848	0	0	0	0	0		55,138,848	
基本利用料収益	4,031,215	0	0	0	0	0		4,031,215	
その他の利用料収益	1,173,644	0	0	0	0	0		1,173,644	
居宅介護支援事業収益	3,849,909	0	0	0	0	0		3,849,909	
受取手数料	2,000	0	220,000	10,350	230,350	0		232,350	
認知症支援事業	6,700,000	0	0	0	0	0		6,700,000	
感染症対策事業	674,389	0	0	0	0	0		674,389	
雑収益	670,684	0	0	0	0	0		670,684	
受取補助金等	[10,121,800]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[10,121,800]	
「看護の日」事業補助金	100,000	0	0	0	0	0		100,000	
(公社)日本看護協会助成金	9,504,800	0	0	0	0	0		9,504,800	
受取補助金振替額	517,000	0	0	0	0	0		517,000	
受取寄付金	[12,669,500]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[12,669,500]	
受取寄付金	600,000	0	0	0	0	0		600,000	
受取寄付金振替額	12,069,500	0	0	0	0	0		12,069,500	
雑収益	[1,557]	[0]	[2,600]	[376]	[2,976]	[1,469,111]	[△0]	[1,473,644]	
受取利息	1,557	0	0	76	76	3,383		5,016	
雑収益	0	0	2,600	300	2,900	1,465,728		1,468,628	
経常収益計	316,411,419	0	5,007,337	10,758	5,018,095	101,114,597	△0	422,544,111	
2) 経常費用									
事業費	[340,147,357]	[0]	[3,396,674]	[6,288,350]	[9,685,024]	[0]	[△0]	[349,832,381]	
役員報酬	24,093,609	0	124,304	105,179	229,483	0		24,323,092	
給与手当	134,745,551	0	2,224,653	781,635	3,006,288	0		137,751,839	
賞与	22,050,936	0	334,438	117,505	451,943	0		22,502,879	
通勤手当	5,974,507	0	102,388	36,136	138,524	0		6,113,031	
役員退職慰労引当金繰入	2,573,500	0	17,252	20,127	37,379	0		2,610,879	
退職給付費用	5,228,447	0	27,400	31,967	59,367	0		5,287,814	
法定福利費	26,876,893	0	379,582	133,970	513,552	0		27,390,445	
福利厚生費	8,296,085	0	5,195	1,439,373	1,444,568	0		9,740,653	
会議費	137,499	0	180	180	360	0		137,859	
旅費交通費	482,999	0	0	0	0	0		482,999	
通信運搬費	10,238,228	0	1,420	117,966	119,386	0		10,357,614	
減価償却費	22,828,709	0	62,821	79,094	141,915	0		22,970,624	
消耗品費	5,193,602	0	14,592	14,592	29,184	0		5,222,786	
修繕費	1,172,580	0	629	1,763	2,392	0		1,174,972	
印刷製本費	13,485,229	0	0	0	0	0		13,485,229	
燃料費	484,197	0	0	0	0	0		484,197	
光熱水料費	6,282,454	0	6,586	18,441	25,027	0		6,307,481	
賃借料	1,132,946	0	1,712	4,793	6,505	0		1,139,451	
保険料	1,611,561	0	1,344	3,765	5,109	0		1,616,670	
諸謝金	18,762,867	0	0	0	0	0		18,762,867	
租税公課	3,336,659	0	75,636	15,781	91,417	0		3,428,076	
支払負担金	35,000	0	0	0	0	0		35,000	
支払手数料	2,556,769	0	132	132	264	0		2,557,033	
看護材料購入費	245,024	0	0	0	0	0		245,024	
管理諸費	17,747,992	0	16,410	3,345,951	3,362,361	0		21,110,353	
図書費	1,294,181	0	0	0	0	0		1,294,181	
委託費	2,164,000	0	0	0	0	0		2,164,000	
広報費	1,029,200	0	0	0	0	0		1,029,200	
雑費	86,133	0	0	20,000	20,000	0		106,133	

(単位：円)

科目	会計区分	収益事業等会計				計	法人会計	内部取引 消去	合計
		公益目的 事業会計	施設の貸与 等事業	販売手数料及 び出展広告料 に関する事業	福利厚生等 に関する事業				
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[38,684,757]	[△0]	[38,684,757]	
役員報酬					0	804,339		804,339	
給料手当					0	13,712,911		13,712,911	
賞与					0	1,988,560		1,988,560	
通勤手当					0	735,387		735,387	
役員退職慰労引当金繰入					0	264,538		264,538	
退職給付費用					0	420,141		420,141	
法定福利費					0	2,679,406		2,679,406	
福利厚生費					0	101,359		101,359	
会議費					0	11,869		11,869	
旅費交通費					0	558,396		558,396	
通信運搬費					0	3,471,205		3,471,205	
減価償却費					0	2,039,607		2,039,607	
消耗品費					0	196,069		196,069	
修繕費					0	64,378		64,378	
印刷製本費					0	3,107,965		3,107,965	
光熱水料費					0	673,110		673,110	
賃借料					0	174,989		174,989	
保険料					0	150,928		150,928	
諸謝金					0	46,000		46,000	
租税公課					0	593,558		593,558	
支払負担金					0	295,500		295,500	
支払手数料					0	4,177,448		4,177,448	
管理諸費					0	1,677,262		1,677,262	
交際費					0	60,126		60,126	
図書費					0	330,626		330,626	
広報費					0	321,200		321,200	
雑費					0	27,880		27,880	
経常費用計	340,147,357	0	3,396,674	6,288,350	9,685,024	38,684,757	△0	388,517,138	
評価損益等調整前当期経常増減額	△23,735,938	0	1,610,663	△6,277,592	△4,666,929	62,429,840	△0	34,026,973	
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0	
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0		0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	△0	0	
当期経常増減額	△23,735,938	0	1,610,663	△6,277,592	△4,666,929	62,429,840	△0	34,026,973	
2. 経常外増減の部									
1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	△0	0	
2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	△0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	△0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△23,735,938	0	1,610,663	△6,277,592	△4,666,929	62,429,840		34,026,973	
他会計振替額	1,200,000	0	△1,200,000	6,277,592	5,077,592	△6,277,592		0	
当期一般正味財産増減額	△22,535,938	0	410,663	0	410,663	56,152,248	△0	34,026,973	
一般正味財産期首残高	164,835,415	5,003,951	4,449,275	35,220	9,488,446	689,809,943		864,133,804	
一般正味財産期末残高	142,299,477	5,003,951	4,859,938	35,220	9,899,109	745,962,191	△0	898,160,777	
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等	2,437,500	0	0	0	0	0		2,437,500	
受取国庫補助金	2,437,500	0	0	0	0	0		2,437,500	
受取寄付金	198,500	0	0	0	0	0		198,500	
受取寄付金	198,500	0	0	0	0	0		198,500	
一般正味財産への振替額	△12,586,500	0	0	0	0	0		△12,586,500	
一般正味財産への振替額	△12,586,500	0	0	0	0	0		△12,586,500	
当期指定正味財産増減額	△9,950,500	0	0	0	0	0	△0	△9,950,500	
指定正味財産期首残高	30,799,673	0	0	0	0	0	△0	30,799,673	
指定正味財産期末残高	20,849,173	0	0	0	0	0	△0	20,849,173	
III 正味財産期末残高	163,148,650	5,003,951	4,859,938	35,220	9,899,109	745,962,191	△0	919,009,950	

正味財産増減計算書内訳表 (公益目的事業会計)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科目	定款事業		公益目的事業会計							内部取引消去	合計
	看護職の 資質向上事業	看護職確保 ・定着事業	訪問看護 推進事業	健康・福祉 増進事業	調査研究 提言事業	訪問看護 ・居宅事業	その他本会の目的を達成する為に必要な事業	公益目的 共通事業			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
1) 経常収益											
特定資産運用益	[1,612]	[1,357]	[197]	[440]	[114]	[105]	[302]	[0]	[△0]	[4,127]	
特定資産受取利息	1,612	1,357	197	440	114	105	302	0		4,127	
受取入金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[13,776,000]	[△0]	[13,776,000]	
受取入金	0	0	0	0	0	0	0	13,776,000		13,776,000	
受取会費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[85,869,000]	[△0]	[85,869,000]	
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	85,869,000		85,869,000	
事業収益	[65,861,019]	[47,281,000]	[0]	[15,971,264]	[0]	[64,856,152]	[0]	[0]	[△0]	[193,969,435]	
教育研修会参加料	47,045,780	0	0	0	0	0	0	0	0	47,045,780	
看護職員の資質向上研修事業受託料	17,793,977	0	0	0	0	0	0	0	0	17,793,977	
ナースセンター事業受託料	0	41,441,000	0	0	0	0	0	0	0	41,441,000	
ナースセンター会館管理受託料	0	5,840,000	0	0	0	0	0	0	0	5,840,000	
小児救急電話相談事業等受託料	0	0	0	1,192,300	0	0	0	0	0	1,192,300	
日本看護協会受託料	1,011,114	0	0	7,404,575	0	0	0	0	0	8,415,689	
訪問看護療養費収益	0	0	0	0	0	55,138,848	0	0	0	55,138,848	
基本利用料収益	0	0	0	0	0	4,031,215	0	0	0	4,031,215	
その他の利用料収益	0	0	0	0	0	1,173,644	0	0	0	1,173,644	
居宅介護支援事業収益	0	0	0	0	0	3,849,909	0	0	0	3,849,909	
受取手数料	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	2,000	
認知症支援事業	0	0	0	6,700,000	0	0	0	0	0	6,700,000	
感染症対策事業	0	0	0	674,389	0	0	0	0	0	674,389	
雑収益	8,148	0	0	0	0	662,536	0	0	0	670,684	
受取補助金等	[10,021,800]	[0]	[0]	[100,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△0]	[10,121,800]	
「看護の日」事業補助金	0	0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000	
(公社)日本看護協会助成金	9,504,800	0	0	0	0	0	0	0	0	9,504,800	
受取補助金振替額	517,000	0	0	0	0	0	0	0	0	517,000	
受取寄付金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[12,669,500]	[△0]	[12,669,500]	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	600,000		600,000	
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	12,069,500		12,069,500	
雑収益	[2]	[0]	[0]	[0]	[0]	[761]	[7]	[787]	[△0]	[1,557]	
受取利息	2	0	0	0	0	761	7	787		1,557	
経常収益計	75,884,433	47,282,357	197	16,071,704	114	64,857,018	309	112,315,287	△0	316,411,419	
2) 経常費用											
事業費	[101,765,360]	[86,139,420]	[8,257,480]	[30,817,398]	[6,996,732]	[62,101,945]	[24,513,423]	[19,555,599]	[△0]	[340,147,357]	
役員報酬	5,429,575	7,639,375	2,591,959	3,448,097	1,280,118	1,270,602	2,433,883	0	0	24,093,609	
給与手当	33,499,897	36,822,730	2,666,796	16,090,076	2,729,166	37,130,825	5,806,061	0	0	134,745,551	
賞与	5,433,507	6,744,793	667,964	1,769,681	379,352	6,082,840	972,799	0	0	22,050,936	
通勤手当	1,671,019	2,137,840	240,913	569,807	212,775	802,056	340,097	0	0	5,974,507	
役員退職慰労引当金繰入	956,842	900,685	123,642	276,039	71,884	54,632	189,776	0	0	2,573,500	
退職給付費用	1,519,656	1,430,473	196,370	438,407	114,168	1,227,968	301,405	0	0	5,228,447	
法定福利費	6,151,190	7,871,041	893,135	2,054,211	558,208	8,098,720	1,250,388	0	0	26,876,893	
福利厚生費	84,684	218,285	12,226	28,119	7,640	132,646	17,115	7,795,370		8,296,085	
会議費	44,100	19,434	1,188	6,894	3,520	0	20,880	41,483		137,499	
旅費交通費	78,770	35,526	0	13,470	1,520	245,138	100,297	8,278		482,999	
通信運搬費	1,693,282	2,579,736	1,852	523,885	274,740	1,150,334	3,763,397	251,002		10,238,228	

(単位：円)

科目	公益目的事業会計									
	定款事業 看護職の 資質向上事業	看護職確保 ・定着事業	訪問看護 推進事業	健康・福祉 増進事業	調査研究 提言事業	訪問看護 ・居宅事業	その他本会の目 的を達成する為 に必要な事業	公益目的 共通事業	内部 取引 消去	合計
減価償却費	9,301,214	2,391,296	442,352	1,521,509	309,748	416,496	735,090	7,711,004		22,828,709
消耗品費	979,389	1,141,210	96,307	777,152	58,368	376,606	177,075	1,587,495		5,193,602
修繕費	185,793	311,440	6,089	11,002	6,592	585,733	7,810	58,121		1,172,580
印刷製本費	3,249,263	2,920,448	9,474	504,592	375,053	156,629	6,269,770	0		13,485,229
燃料費	0	0	0	0	0	484,197	0	0		484,197
光熱水料費	2,336,256	2,987,270	63,666	115,038	68,935	583,957	81,668	45,664		6,282,454
賃借料	554,744	169,558	16,551	29,906	17,919	146,109	186,289	11,870		1,132,946
保険料	435,045	135,336	12,998	24,486	14,073	963,627	16,673	9,323		1,611,561
諸謝金	14,119,307	2,686,107	0	1,231,256	281,660	0	322,234	122,303		18,762,867
租税公課	1,815,493	564,319	54,483	110,445	58,992	143,000	69,889	520,038		3,336,659
支払負担金	0	0	0	0	0	35,000	0	0		35,000
支払手数料	1,880,252	3,761	871	1,980	528	200	1,425	667,752		2,556,769
看護材料購入費	0	0	0	0	0	245,024	0	0		245,024
管理諸費	6,982,352	6,246,239	158,644	286,654	171,773	1,738,732	1,437,702	725,896		17,747,992
図書費	1,199,730	22,918	0	55,440	0	16,093	0	0		1,294,181
委託費	2,164,000	0	0	0	0	0	0	0		2,164,000
広報費	0	144,600	0	882,380	0	0	2,220	0		1,029,200
雑費	0	15,000	0	46,872	0	14,781	9,480	0		86,133
経常費用計	101,765,360	86,139,420	8,257,480	30,817,398	6,996,732	62,101,945	24,513,423	19,555,599	△0	340,147,357
評価損益等調整前当期経常増減額	△25,880,927	△38,857,063	△8,257,283	△14,745,694	△6,996,618	2,755,073	△24,513,114	92,759,688	△0	△23,735,938
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	△0	0
当期経常増減額	△25,880,927	△38,857,063	△8,257,283	△14,745,694	△6,996,618	2,755,073	△24,513,114	92,759,688	△0	△23,735,938
2. 経常外増減の部										
1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	△0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	△0	0
他会計振替前当期正味財産増減額	△25,880,927	△38,857,063	△8,257,283	△14,745,694	△6,996,618	2,755,073	△24,513,114	92,759,688		△23,735,938
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	1,200,000		1,200,000
当期一般正味財産増減額	△25,880,927	△38,857,063	△8,257,283	△14,745,694	△6,996,618	2,755,073	△24,513,114	93,959,688	△0	△22,535,938
一般正味財産期首残高	△168,199,734	△234,995,862	△66,124,945	△142,225,103	△53,197,506	△4,207,121	△217,532,280	1,051,317,966		164,835,415
一般正味財産期末残高	△194,080,661	△273,852,925	△74,382,228	△156,970,797	△60,194,124	△1,452,048	△242,045,394	1,145,277,654	△0	142,299,477
II 指定正味財産増減の部										
受取補助金等	2,437,500	0	0	0	0	0	0	0		2,437,500
受取国庫補助金	2,437,500	0	0	0	0	0	0	0		2,437,500
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	198,500		198,500
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	198,500		198,500
一般正味財産への振替額	△517,000	0	0	0	0	0	0	△12,069,500		△12,586,500
一般正味財産への振替額	△517,000	0	0	0	0	0	0	△12,069,500		△12,586,500
当期指定正味財産増減額	1,920,500	0	0	0	0	0	0	△11,871,000	△0	△9,950,500
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	30,799,673		30,799,673
指定正味財産期末残高	1,920,500	0	0	0	0	0	0	18,928,673		20,849,173
III 正味財産期末残高	△192,160,161	△273,852,925	△74,382,228	△156,970,797	△60,194,124	△1,452,048	△242,045,394	1,164,206,327	△0	163,148,650

監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会
会 長 寺 口 恵 子 様

令和3年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について、令和3年度監事監査実施計画に基づき、第1回（令和3年11月12日）及び第2回（令和4年5月10日）監査を実施したので、その結果を報告する。

監査の方法

- 1 業務に関しては、事業実績調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長(代表理事)及び業務執行理事から報告と説明を受け関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関しては、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等により報告と説明を受け、また公認会計士からの監査報告書を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

監査意見

業務執行、予算執行、財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

令和4年5月10日

公益社団法人千葉県看護協会

監 事 青 木 隆

監 事 石 井 崇 子

監 事 澤 田 い つ 子

令和4年度役員・推薦委員候補者一覧

- ・記事は（現・新）、氏名（職種）、所属、抱負の順。
- ・推薦とは、推薦委員会設置運営規程第2条第2項の規定に基づく推薦委員会による推薦を指し、立候補とは選挙運営規則第3条の規定に基づく立候補を指す。

※候補者の所属は令和4年4月1日時点の会員登録情報による。

※候補者から提出のあった立候補届出書の抱負を原文のまま掲載。

1 理事（改選12／候補者12名）

■推薦

会長候補者

現	寺口 恵子	看	公益社団法人 千葉県看護協会
---	-------	---	-------------------

新型コロナウイルス感染症の蔓延が長期化する中、看護を取り巻く環境は変化し、社会保障制度改革は待たなしで進み、看護職への役割拡大は今まで以上に期待されています。組織力を強化し、看護の質向上、働きやすい労働環境の推進に取り組みます。

常任理事候補者

現	渡辺 尚子	看	公益社団法人 千葉県看護協会
---	-------	---	-------------------

常任理事として、ナースセンター事業、訪問看護に関することを主に担当してきました。コロナ禍においては、特に看護職の定着・確保は重要課題です。引き続き微力ながら取組んでいきたいと思っております。

看護師職能I理事候補者

現	田中 且子	看	一般社団法人巨樹の会 八千代リハビリテーション病院
---	-------	---	------------------------------

コロナ禍が影響し、委員会活動にも制約を強いられるかと思いますが、委員協力のもと3職能が連携・協力し、看護師として地域・社会に貢献できるよう努めてまいります。

現	川井 弘子	看	サポテン六高台
---	-------	---	---------

訪問看護に関わる仕事を現場で行っています。現場では、日々さまざまな問題が発生しています。その中で少しでもヘルシーワークプレイスや地域包括ケアの推進ができるように微力ながらお役に立てるように頑張ります。

新	入江 昭子	看	帝京大学ちば 総合医療センター
---	-------	---	--------------------

看護職は少子高齢社会に向けた地域医療構想推進に加え、災害やCOVID-19感染拡大の対応等、激動の時代を様々な場所・場面で活躍しています。微力ではございますが県民・看護職の皆様に貢献して参ります。

副会長候補者

新	伊藤 淳子	看	国際医療福祉大学 成田病院
---	-------	---	------------------

社会から看護職への信頼が増し、期待も大きくなる一方、看護職の勤務状況は厳しさを増しています。看護職者が様々な立場で働き続けられる職場環境を改善していけるよう、臨床の声を届け協会活動に尽力していきます。

助産師職能理事候補者

現	青木 康子	助	キッコーマン総合病院
---	-------	---	------------

地域包括ケアシステムを構築・推進していく中、助産師の専門性が発揮できるよう支援をしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

現	鈴木 美智子	看	順天堂大学医学部附属 浦安病院
---	--------	---	--------------------

自分の進むべき道を教え、導いてくれた看護の素晴らしさを、千葉県看護協会理事として看護職員の皆様や地域住民の方々にその想いを届けていきたいと考えています。

現	遠山 美智子	看	君津中央病院 附属看護学校
---	--------	---	------------------

新型コロナウイルス感染も3年目をむかえ、健康な生活を守る看護職への期待は高まっています。最前線で働く看護職が安全・安心に働き続けられるよう、微力ですが尽力させていただきたいと考えます。

新	大塚 玲子	看	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院
---	-------	---	-------------------------

千葉県看護協会の活動に貢献できるよう精一杯努めてまいります。

新	尾出 真理子	看	医療法人社団鎮誠会 季美の森リハビリテーション 病院
---	--------	---	----------------------------------

コロナ禍が続く中で、地域包括ケアシステムが円滑に循環していく重要性を痛感しております。急性期病院から回復リハへ、そして在宅へと繋ぐ当院の使命と共に、看護協会理事としての繋ぐ役割を果たしてまいります。

新	平野 貴之	准	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院
---	-------	---	---------------------------

看護協会が、准看護師制度についての改革を長きに亘り行っている事に関して現状を考えながら微力ではありますが、課題解決に一石が投げられるよう努めて参ります。

監事（改選1／候補者1名）

■推薦 会員

現	澤田 いつ子	保	在宅
---	--------	---	----

貴会の目的は、看護師等の資質向上と、働き続けられる環境づくりの推進のもと、地域のニーズに応じた保健・医療・福祉の向上に貢献することだと認識しています。監事として、協会事業が目的に添った適正、かつ円滑に遂行できるよう力を尽くします。

3 推薦委員（改選7／候補者8名）

■推薦

新	岸 恵美子	保	千葉県健康福祉部 健康福祉政策課
---	-------	---	---------------------

本会の使命である「看護の専門性と職能団体としての力を発揮し、県民の健康な生活の実現に貢献する」を会員の代表として推進するために相応しい候補者を中立的な立場から推薦できるよう尽力いたします。

新	橋本 理恵	助	千葉市立海浜病院
---	-------	---	----------

この度、推薦委員として推薦をいただきました。千葉県内の会員の皆様と情報交換しながら、県民の健康な生活の実現に貢献するために精一杯尽力していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

新	夏目 昌信	看	訪問看護ステーション わたぼうし
---	-------	---	---------------------

協会活動歴としてはまだまだ浅い私ですが、少しでも皆さんの力になれるようにします。よろしくお願いいたします。

新	稲見 時子	看	医療法人社団愛友会 千葉愛友会記念病院
---	-------	---	------------------------

新型コロナウイルス感染症が長期化している中で、看護師が使命感をもって働いています。魅力あるこの職を長く続けられる為の取り組みを考え、千葉県看護協会の活動の一助となれるよう尽力していきたいと考えております。

新	梅里 妙子	看	市原看護専門学校
---	-------	---	----------

看護職が看護実践に専心できる環境づくりが、職能団体である看護協会の存在意義であり活動であると思います。そうした活動ができるよう最善を尽くしたいと思います。

新	中山 聡子	看	IMSグループ 医療法人財団明理会 行徳総合病院
---	-------	---	--------------------------------

これまで看護協会会員として多くの研修に参加させていただき、自己の成長の機会を頂きました。看護協会の業務に携わるのは初めてですが、推薦委員としての職務を果たすよう努力してまいります。

■立候補

新	金敷 美和	看	千葉県救急医療センター
---	-------	---	-------------

新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、様々な場所で勤務する看護の需要が高まっています。県民の健康を看護の力で支えることができるよう、推薦委員として活動していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新	坂本 直子	看	社会医療法人社団 千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院
---	-------	---	----------------------------------

病院、診療所、訪問看護と仕事を続けてきました。コロナ禍、様々な社会的問題を抱えている方を目の当たりにし、看護職として、もっとできることはないか考え、協会活動に微力ながら参画させて頂ければと思っております。

第3号議案

2023年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について

2023年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

地区	氏名	シメイ	職種	所属
理事等	1 浅野 美知恵	アサノ ミチエ	看	東邦大学健康科学部
	2 井上 恵子	イノウエ ケイコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会
	3 長谷川 美徳	ハセガワ ミホ	看	公益社団法人 千葉県看護協会
	4 久保木 知子	クボキ トモコ	保	千葉県市川保健所(市川健康福祉センター)
	5 青木 康子	アオキ ヤスコ	助	キックマン株式会社 キックマン総合病院
	6 田中 且子	タナカ カツコ	看	一般社団法人巨樹の会 八千代リハビリテーション病院
	7 小宮山 日登美	コミヤマ ヒトミ	看	株式会社 POLAR 訪問看護ステーションひとみ
	8 平野 貴之	ヒラノ タカユキ	准	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院
千葉	9 鈴木 美香	スズキ ミカ	看	千葉県がんセンター
	10 木戸 淳子	キド ジュンコ	看	社会医療法人社団健脳会 千葉脳神経外科病院
	11 生澤 敦子	イケザワ アツコ	看	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院
12 岸部 友美	キシベトモミ	看	自動車事故対策機構 千葉療護センター	
13 市原 青川 孝子	アオタ タカコ	看	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院	
船橋	14 田畑 勝徳	タバタ カツノリ	保	医療法人社団一心会 初富保健病院
	15 宇梶 智子	ウカジトモコ	看	医療法人社団一心会 初富保健病院
市川	16 日向 早苗	ヒナタ サナエ	看	医療法人社団協友会 船橋総合病院
	17 野沢 順子	ノザワ ジュンコ	看	医療法人社団嵐川 大野中央病院
松戸	18 谷崎 知恵子	タニザキ チユコ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院
	19 根岸 暢子	ネギシ マサコ	助	医療法人徳洲会 千葉西総合病院
東葛	20 濱石 ミチ子	ハマishi ミチコ	看	医療法人社団誠高会 おおたかの森病院
	21 日比野 幸子	ヒビノ サチコ	看	東京慈恵会医科大学附属柏病院
印旛	22 恵比壽 由花	エビスユカ	看	東邦大学医療センター 佐倉病院
	23 額 綱 真砂美	コウケツ マサミ	看	医療法人社団愛信会 佐倉中央病院
24 利根 藤原 浩美	フジワラ ヒロミ	看	香取おみがわ医療センター	
25 山武 柴田 栄利子	シバタ エリコ	看	医療法人社団慈優会 九十九里病院	
26 長夷 藤本 孝子	フジモト タカコ	看	医療法人社団三愛会 君塚病院	
27 君津 鳥飼 紀子	トリカイ ノリコ	看	特定医療法人新都市医療研究会君津会 玄々堂君津病院	
28 安房 橋野 みゆき	ハシノ ミユキ	看	医療法人三紫会 小田病院	

※保健師、助産師、准看護師を各1名含むこと。候補者の所属は、令和4年4月1日時点の会員登録情報による。

【予備代議員】

地区	氏名	シメイ	職種	所属
理事等	1 伊藤 淳子	イトウ ジュンコ	看	国際医療福祉大学成田病院
	2 渡辺 尚子	ワタナベ ナオコ	看	公益社団法人 千葉県看護協会
	3 田口 真由美	タグチ マユミ	看	公益財団法人柏市医療公社 柏市立柏病院
	4 久保 ひろみ	クボ ヒロミ	看	千葉市立青葉病院
	5 鈴木 美智子	スズキ ミチコ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院
	6 川井 弘子	カワイ ヒロコ	看	サポテン六高台
	7 遠山 美智子	トオヤマ ミチコ	看	君津中央病院附属看護学校
	8 後藤 憲太	ゴトウ ケンタ	准	戸田中央内科グループ北総白井病院
千葉	9 坂本 照美	サカモト テルミ	看	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST病院
	10 池畑 久美子	イケハタクミコ	看	千葉県千葉リハビリテーションセンター
	11 伊藤 貴子	イトウ タカコ	看	医療法人社団創進会 みつわ台総合病院
12 坂本 大介	サカモト ダイスケ	准	自動車事故対策機構 千葉療護センター	
13 市原 高瀬 峰子	タカセ ミネコ	看	千葉県循環器病センター	
船橋	14 齋藤 寿美子	サイトウ スミコ	看	医療法人社団一心会 初富保健病院
	15 保坂 さとみ	ホサカ サトミ	看	医療法人社団協友会 船橋総合病院
市川	16 若松 由起	ワカマツ ユキ	看	医療法人社団協友会 船橋総合病院
	17 秋田 葉子	アキタ ヨウコ	看	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター
松戸	18 中島 亮子	ナカジマ リョウコ	看	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国府台病院
	19 竹田 千鶴	タケダ チヅル	看	医療法人徳洲会 千葉西総合病院
東葛	20 菅原 直美	スガワラ ナオミ	看	I MSグループ 医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院
	21 米山 あゆみ	ヨネヤマ アユミ	看	医療法人社団圭春会 小張総合病院
印旛	22 廣田 晶子	ヒロタ アキコ	看	学校法人医療創生大学 葵会柏看護専門学校
	23 佐藤 重子	サトウ シゲコ	助	成田赤十字病院
利根	24 安永 真紀子	ヤスナガ マキコ	看	医療法人鳳生会 成田病院
	25 飯笹 和子	イイザサ カズコ	看	東庄町国民健康保険 東庄病院
山武	26 岡谷 光代	オカヤ ミツコ	看	国保匠瑛市民病院
	27 林 孝枝	ハヤシ タカエ	看	人網白里市立 国保大網病院
28 長夷 亀田 日出子	カメダ ヒデコ	看	医療法人 SHIODA 塩田記念病院	
29 君津 馬竹 富美代	ウマタケ フミヨ	看	国保直営総合病院 君津中央病院	
30 安房 堺 真智子	サカイ マチコ	看	南房総市立富山国保病院	

※候補者の所属は、令和4年4月1日時点の会員登録情報による。

